

【福島市議会政務活動費の交付に関する条例】

別記様式 その1（第7条関係）

政務活動費収支報告

令和5年4月25日

福島市議会議長 真田 広志 様

会 派 名 真政会

代 表 者 名 会長 白川 敏明

令和4年度政務活動費収支報告について

福島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

【福島市議会政務活動費の交付に関する条例】

別記様式 その2 (第7条関係)

政務活動費収支報告書

令和4年度政務活動費収支報告書

会 派 名 真政会

1 収 入

政務活動費 10,800,027円 (うち利息27円を含む)

2 支 出

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	22,000	施設入場料など
研 修 費	72,880	市議会研究フォーラム参加費
活 動 旅 費	2,881,188	視察旅費など
広 報 費	4,637,506	会報の発行など
広 聴 費	24,800	意見交換会の会場費など
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	72,760	書籍購入費など
事 務 費	1,964,723	NTT、事務用品費など
合 計	9,675,857	

3 残 額 1,124,170円

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

## 現金出納簿

支出科目( 総括 )

(No. 1)

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
4.4.4	1		12,400	△ 12,400	意見交換会市民会館使用料
4.4.4	2		106,272	△ 118,672	パソコン・複合機リース代 4月分 (リコーリース)
4.13	3		1,347,434	△ 1,466,106	会報69号印刷・新聞折り込み代 (阿部紙工)
4.13	4		341,000	△ 1,807,106	会報69号版下作成代 (第一印刷)
4.13	5		12,650	△ 1,819,756	ガバナンス2022年4月号～2023年3月号 (株式会社ぎょうせい)
4.13	6		60,110	△ 1,879,866	デーファイル購読料2022年4月号～ 2023年3月号(イマジン出版株式会社)
4.15		5,400,000		3,520,134	政務活動費前期分
5.6	7		106,272	3,413,862	パソコン・複合機リース代 5月分 (リコーリース)
5.10	8		2,550	3,411,312	NHK受信料4・5月分(NHK)
5.13	9		12,000	3,399,312	コミュタン福島・産総研郡山・ハイテク プラザ視察における日当×8人
5.16	10		25,406	3,373,906	複合機・インターネット使用料4月分 (福島リコピー)
5.17	11		81,300	3,292,606	視察のための貸切バス代 (大和自動車交通)
5.27	12		6,352	3,286,254	令和4年5月分(4月1日～4月30日) (NTT東日本)
6.6	13		106,272	3,179,982	パソコン・複合機リース代 6月分 (リコーリース)
6.15	14		33,182	3,146,800	複合機・インターネット使用料5月分 (福島リコピー)
6.28	15		6,361	3,140,439	令和4年6月分(5月1日～5月31日) (NTT東日本)
6.28	16		2,550	3,137,889	NHK受信料6・7月分(NHK)
7.4	17		106,272	3,031,617	パソコン・複合機リース代 7月分 (リコーリース)
7.14	18		819,500	2,212,117	会報70号印刷・新聞折り込み代 (陽光社印刷)
計		5,400,000	3,187,883	2,212,117	

## 現金出納簿

支出科目( 総括 )

(No. 2 )

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
4 7 14	19		154,000	2,058,117	会報70号版下作成代(第一印刷)
7 15	20		17,160	2,040,957	複合機・インターネット使用料6月分(福島リコピー)
7 25	21		907,770	1,133,187	視察における旅費×8人
7 26	22		△ 115,620	1,248,807	視察における旅費返還金×6人
7 26	23		△ 55,190	1,303,997	視察における旅費返金(半沢議員分)
8 4	24		24,618	1,279,379	視察における旅費(半沢議員分)
8 4	25		106,272	1,173,107	パソコン・複合機リース代8月分(リコーリース)
8 4	26		6,343	1,166,764	令和4年7月分(6月1日～6月30日)(NTT東日本)
8 15	27		17,160	1,149,604	複合機・インターネット使用料7月分(福島リコピー)
8 20		16		1,149,620	利息
8 25	28		2,550	1,147,070	NHK受信料8・9月分(NHK)
8 25	29		6,290	1,140,780	令和4年8月分(7月1日～7月31日)(NTT東日本)
8 30	30		12,400	1,128,380	意見交換会市民会館使用料
9 1	31		14,850	1,113,530	令和4年度タブレット端末通信料(令和4年4月～令和4年9月)
9 5	32		106,272	1,007,258	パソコン・複合機リース代9月分(リコーリース)
9 15	33		158,716	848,542	事務用品として(Works-SCS)
9 15	34		17,160	831,382	複合機・インターネット使用料8月分(福島リコピー)
9 29	35		6,299	825,083	令和4年9月分(8月1日～8月31日)(NTT東日本)
10 4	36		106,272	718,811	パソコン・複合機リース代10月分(リコーリース)
10 13	37		72,880	645,931	全国市議会議長会研究フォーラム参加費
計		5,400,016	4,754,085	645,931	

## 現金出納簿

支出科目( 総括 )

(No. 3 )

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
4:10:17	38		47,520	598,411	プリンタートナー代(福島リコピー)
10:17	39		17,160	581,251	複合機・インターネット使用料9月分(福島リコピー)
10:17		5,400,000		5,981,251	政務活動費後期分
10:17	40		1,006,500	4,974,751	会報71号版下作成・印刷・新聞折り込み代(第一印刷)
10:18	41		16,000	4,958,751	糸魚川ジオパーク資料代2000円×8人
10:18	42		6,000	4,952,751	視察入場料500円×8人 ホール使用料2,000円(糸魚川博物館)
10:18	43		718,880	4,233,871	視察における旅費×8人
10:25	44		712	4,233,159	クリップペンシル(ダイユーエイト)
10:26	45		6,301	4,226,858	令和4年10月分(9月1日~9月30日)(NTT東日本)
10:26	46		2,550	4,224,308	NHK受信料10・11月分(NHK)
11:4	47		106,272	4,118,036	パソコン・複合機リース代11月分(リコーリース)
11:15	48		17,160	4,100,876	複合機・インターネット使用料10月分(福島リコピー)
11:25	49		6,281	4,094,595	令和4年11月分(10月1日~10月31日)(NTT東日本)
12:5	50		106,272	3,988,323	パソコン・複合機リース代12月分(リコーリース)
12:15	51		38,254	3,950,069	複合機・インターネット使用料11月分(福島リコピー)
12:28	52		2,550	3,947,519	NHK受信料12・1月(NHK)
12:28	53		6,281	3,941,238	令和4年12月分(11月1日~11月30日)(NTT東日本)
5:1:4	54		106,272	3,834,966	パソコン・複合機リース代1月分(リコーリース)
1:10	55		815,072	3,019,894	会報72号印刷・新聞折り込み代(阿部紙工)
1:10	56		154,000	2,865,894	会報72号版下作成代(第一印刷)
計		10,800,016	7,934,122	2,865,894	

## 現金出納簿

支出科目( 総括 )

(No. 4 )

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
5 1 16	57		19,422	2,846,472	複合機・インターネット使用料12月分 (福島リコピー)
1 26	58		6,342	2,840,130	令和5年1月分(12月1日~12月31日) (NTT東日本)
1 31	59		1,307,430	1,532,700	視察における旅費×9人
2 6	60		106,272	1,426,428	パソコン・複合機リース代2月分 (リコーリース)
2 15	61		17,738	1,408,690	複合機・インターネット使用料1月分 (福島リコピー)
2 15	62		56,430	1,352,260	プリンターユニット交換 (福島リコピー)
2 18		11		1,352,271	利息
2 24	63		6,325	1,345,946	令和5年2月分(1月1日~1月31日) (NTT東日本)
2 27	64		2,550	1,343,396	NHK受信料2・3月(NHK)
3 3	65		14,850	1,328,546	令和4年度タブレット端末通信料 (令和4年10月~令和5年3月分)
3 6	66		106,272	1,222,274	パソコン・複合機リース代3月分 (リコーリース)
3 15	67		17,160	1,205,114	複合機・インターネット使用料2月分 (福島リコピー)
3 15	68		41,580	1,163,534	プリンター保守契約料 2022年度分 (福島リコピー)
3 27	69		6,325	1,157,209	令和5年3月分(2月1日~2月28日) (NTT東日本)
4 17	70		26,644	1,130,565	複合機・インターネット使用3月分 (福島リコピー)
4 25	71		6,395	1,124,170	令和5年4月分(3月1日~3月31日) (NTT東日本)
計		10,800,027	9,675,857	1,124,170	

# 現金出納簿

支出科目( 調査研究費 )

(No. 1 )

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
4 10 18	41	16,000	16,000	糸魚川ジオパーク視察資料代2000円×8人
10 18	42	6,000	22,000	入場料500円×8人 ホール使用料2,000円 (糸魚川博物館)
計		22,000	22,000	

領 収 書

福島市議会 真政会 様

金 16,000 円也

但し、「糸魚川ジオパーク視察資料代」として、正に領収いたしました。

〈明細〉 @ 2,000円×8人分

令和4年10月18日

糸魚川ジオパーク協議会

会 長 米 田 徹

請 求 書

福島市議会 真政会 様

金 16,000 円也

「糸魚川ジオパーク視察資料代」として、上記正に請求いたします。

〈明細〉 @ 2,000円×8人分

令和4年10月18日

糸魚川ジオパーク協議会

会 長 米 田 徹

振込先：新潟県労働金庫糸魚川支店  
普 5119111 糸魚川ジオパーク協議会



領収書等添付用紙

No. ( 42 )

番号 47

領収証書

福島市議会 真政会 様

¥ 6,000.-

ただし フォッサマグナミュージアム

入館料として

大人8名×500円

ホール使用料として

2,000円

使用料  
手数料

上記金額領収しました。

令和 4年 10月 18日

糸魚川市出納員 (現金取扱員)

糸魚川市博物館

館長 竹之内 耕



# 現金出納簿

支出科目( 研修費 )

(No. 1)

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
4 10 13	37	72,880	72,880	全国市議会議長会研究フォーラム参加費
計		72,880	72,880	

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

37-1

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご指定日  
4年10月13日

お振込先

会社機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)

支店名(漢字)を左づめでご記入ください

銀行

東邦銀行

銀行以外の場合○をお付けください。

振金 信組 農協 その他

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)もマスを使用してご記入ください。

お預金種目

該当項目に○をお付けください  
1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他

左づめでご記入ください

金額

千 百 万 千 百 十 円

¥ 7 2 0 0 0

受取カタカナ

トウフットツアーズ株式会社

キカイシヤ

消費税込手数料

¥ 8 8 0

おなまえ(漢字)

東武トップツアーズ株式会社 様

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

ご依頼カタカナ

2601フクシマシヤキカイシヤ

カイ

株式会社 東邦銀行

おなまえ(漢字)

2601 福島市議会 真政会 様



収入印紙

1. 振込金受取書の場合、振込金+手数料5万円以上の場合は200円貼付
2. 振込金受取書の場合不要
3. 当行の本人口座への入金は200円貼付

おところ

福島市五老内町3-1

日中ご連絡可能な電話番号

当行をご利用いただきましてありがとうございます

A000246

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

福島市議会真政会 御中

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水 富 雄

東京都千代田区平河町2-4-2

金 72,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

現金出納簿

支出科目( 活動旅費 )

(No. 1 )

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
4: 5: 13	9	12,000	12,000	視察における日当×8人
5: 17	11	81,300	93,300	視察のための貸切バス代 (大和自動車交通)
7: 25	21	907,770	1,001,070	視察における旅費×8人
7: 26	22	△ 115,620	885,450	視察における旅費返金×6人
7: 26	23	△ 55,190	830,260	視察における旅費返金(半沢議員分)
8: 4	24	24,618	854,878	視察における旅費(半沢議員分)
10: 18	43	718,880	1,573,758	視察における旅費×8人
5: 1: 31	59	1,307,430	2,881,188	視察における旅費×9人
計		2,881,188	2,881,188	

【マニュアル】様式第11号

# 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壹	
1 支払金額		¥	1	2	0	0	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年5月13日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	1,500円×8人=12,000円 合計 12,000円	
理 由	視察における日当	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川敏明

令和4年4月19日

会派名 真政会

代表者 会長 白川 敏明 様

(議員) 白川 敏明

政務活動承認申請書

<p>区 分 (該当をかこむ)</p>	<p>調査研究・研修・広報 広聴・会議</p>
<p>期 間</p>	<p>令和4年5月13日(金)</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>白川 敏明      渡辺 敏彦      半沢 正典 小松 良行      大平 洋人      萩原 太郎 石山 波恵      二階堂 利枝      以上8名</p>
<p>場 所</p>	<p>① 田村郡三春町深作10-2 福島県環境創造センター交流棟 ② 郡山市待池台2-2-9 福島再生可能エネルギー研究所 ③ 郡山市待池台1丁目12番地 福島県ハイテクプラザ</p>
<p>目 的</p>	<p>① 安心して生活できる環境の回復・創造を目的に建設された施設を視察し、教育・研修・交流について本市の参考とするため。 ② ゼロカーボン都市を目指す本市が、今後の取り組みを研究し先進技術の状況を学び政策提言の参考とするため。 ③ 本県の技術開発支援の中核を担う組織及び施設の視察を通して、本市の産業発展と県との連携を調査するため。</p>

<p>承認欄</p>	<p>(代表者氏名) 会長 白川 敏明</p>
------------	-------------------------

令和4年6月6日

福島市議会議長 真田 広志 様

会派名.....真政会.....

代表者名.....会長 白川 敏明.....

### 政務活動報告書

<p>区 分 (該当をかこむ)</p>	<p>調査研究 ・ 研 修 ・ 広 報 広 聴 ・ 会 議</p>
<p>期 間</p>	<p>令和4年5月13日(金)</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>渡辺 敏彦      半沢 正典      小松 良行      大平 洋人 萩原 太郎      白川 敏明      二階堂利枝 石山 波恵 (福島県環境創造センター交流棟に到着後、帰福) 以上8名</p>
<p>応対者 (名刺の写し添付)</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>場 所</p>	<p>① 田村郡三春町深作10-2 福島県環境創造センター交流棟  ② 郡山市待池台2-2-9 福島再生可能エネルギー研究所  ③ 郡山市待池台1丁目12番地 福島県ハイテクプラザ</p>
<p>行 程 (別紙も可)</p>	<p>福島市 → 三春町 → 郡山市 → 福島市</p>



## 福島県環境創造センター交流棟 視察

説明者 総務企画部長兼企画課長 鈴木 雄一氏  
[REDACTED]

### 【目的】

福島県環境創造センター交流棟（愛称：コミュタン福島）は放射線や環境問題を身近な視点から理解し、環境の回復と創造への意識を深める施設であり、放射線や福島に関する展示や体験ができる。視察を通して、放射線教育や研修ができる施設において、正しい知識と意識を深め、風評被害を克服していくとともに、施設の利用を促進していくため。

### 【内容】

交流棟のコンセプトは、環境回復・創造の「学びと発信」を目指して、子どもたち・県民とともに未来を創造する「対話と共創の場」

#### ◎ 事業運営の方針に基づく「対話と共創」の方向性

##### ① 内容

子どもたちや県民の関心に応じた実践的な活動を展開

##### ② プログラム

子供たちの成長や意識にそった持続型のプログラム開発

##### ③ 連携

学校利用促進と交流を通して、新たな環境を作ることへの気づきと意識を醸成

##### ④ 福島を環境を共創するプロセスを県内、そして国内外への発信する

#### ◎ 展示室の全体像

##### ① 知る（フロム 3.11 スクエア）


3.11 に始まる原子力発電所の事故から福島歩みと今を伝える

##### ② 体験する（放射線ラボ）

体験や対話を通して放射線に関する理解を深めるとともに、福島環境回復や復興に向けた様々な取組を紹介する

##### ③ 体験する（環境創造ラボ）

「原子力に依存しない福島」に向けて、すでに始まっている取組や最新の情報を紹介し、環境創造に向けて「自分ができるこ

	<p>と」、「みんなのできること」への意識を醸成する</p> <p>④ 未来を描く（環境創造シアター） 福島環境の未来像や目標を体感するとともに、展示を通して培った放射線と環境創造への知識を意識へと変えるきっかけの場とする</p>
<p>[成果]</p>	<p>東日本大地震及び原子力発電所事故から10年が経過し、小学生はもちろんのこと中学生においても記憶にない状況となり、地震の事実と原発事故の関係などを、後世に残していく必要がある。それには、正しい知識と、危険予知能力を高めるなど、学習する機会と施設が不可欠であり、当該施設は最新機材が設置してあり理解を深めることができた。特に、放射線を可視化できる装置は、放射線ごとに、直線的に動くものや、パッと現れて消えるものなど特性の違いを視覚で理解できる興味深いものであった。また、本県の観光地を映したものを球体のシアターで見ることができた。球体シアターは、全国でも数少ないとの説明があった。</p> <p>このことから、小中学生に限らず、大人でも楽しみながら学習できるこの施設を、更に活用していけるよう周知していく。</p>
	<p>福島再生可能エネルギー研究所 視察</p> <p>説明者 </p>
<p>[目的]</p>	<p>ゼロカーボン都市を標榜する本市において、再生可能エネルギーの現状を視察し、今後の取組について参考にするとともに、政策提言していくため。</p>
<p>[内容]</p>	<p>福島再生可能エネルギー研究所は、再エネに関する我が国唯一国立研究機関であり、独創的な再エネ技術を研究開発し世界に発信し、企業支援・人材育成を通して復興支援に貢献することを目的に設立された。</p> <p>◎スマートシステム研究棟では、大型パワーコンディショナ等の先端的研究・試験・評価拠点であり、①系統連系試験 ②安全性試</p>

験③電磁環境試験 ④システム性能試験 が行われている。  
この研究棟では、開所から5年間で、企業共同研究及び認証試験を130件行った。

◎企業連携シーズ支援事業は、被災地（福島県・宮城県・岩手県）の企業が持つ再エネに関連したシーズ（技術やノウハウ）に対し、FREAが持つノウハウや研究設備・実証フィールドを活用して、被災地企業の再エネに関連シーズの開発と事業化を支援することを目的に設置した。支援対象分野は、太陽光発電・風力発電・地熱・地中熱・蓄エネルギー・再生可能エネルギー管理となっており、被災地における新たな産業の創出を目指し、2021年度から、福島県の浜通り15市町村の企業・団体を中心に支援している。

【実績】 2013～2021年度実績

- 採択企業・団体数      のべ242者
- 採択課題数            168課題
- 事業化数              61件（50課題）\*2020年度まで

【事例】

- ①太陽電池用ガラスフリット
- ②ベローズシールバルブ
- ③プラズマアクチュエータモジュール

【福島県内の再エネに関連産業への支援例】

- 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会
  - ・県内外約850企業・団体で組織
  - ・5分科会のうち、4分科会（太陽光・風力・水素・エネルギー）の会長をFREA職員が担う
  - ・ネットワークの形成、技術基盤の強化など、関連産業集積に向け情報共有・発信
- ①研究会セミナー ②分科会 ③展示会への出展 ④技術講習会

○人材育成

地元の大学や企業から人材を受け入れ、最先端の設備や知見を活用した研究開発への参画を通じ、将来の再エネ分野を担う産業人材を育成

<p><b>[成果]</b></p>	<p>再生可能エネルギー研究所について所長から、詳細な説明を受けた後、所内の施設を視察した。地下熱利用のエアコン装置や太陽光発電システムの、メーカー別発電効率及び耐用年数の調査、風力発電及び水素の利用など、地球温暖化対策としての様々な再エネの研究を行っていることへの認識を新たにした。地球温暖化による自然災害の脅威を受け止め、生命と財産を守るために、市民の役割と公的な助成を効率的に実施するための政策提言の参考にしていく。</p> <p><b>福島県ハイテクプラザ 視察</b>  説明者 所長 大和田野 芳郎氏  副所長（総務）橋本 公一氏  副所長（業務）栗花 信介氏  材料技術部 部長 本田 和夫氏  企画連携部 部長 山崎 智史氏</p>
<p><b>[目的]</b></p>	<p>福島県の工業の振興を図るために設置した、県立の試験研究機関で、技術開発の中核を担う組織及び施設の視察を行い、本市の産業開発と県との連携を聴取する。また、ハイテクプラザ福島といわきが郡山本部に統合されたことから、今後の運営について本市の影響等を聴取するため。</p>
<p><b>[内容]</b></p>	<p>◎ハイテクプラザの改組と機能強化について</p> <p>○令和4年度から福島といわきを郡山本部に集約した。  職員数 92名、うち技術者 84名（令和4年3月31日）  郡山 49名 会津若松 17名 <u>福島 9名</u> いわき 7名  南相馬 10名</p> <p>○改組による機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山本部の機能を強化することにより、福島、いわき方面への支援はもとより、県内企業の支援をより充実させる  職員数 91名 うち技術者 84名  郡山 62名 会津若松 18名 南相馬 11名</li> </ul> <p>○福島・いわき地域への支援強化と設備の増強等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島・いわき向け現地メニューの充実  研究成果発表会、相談会、支援団体等と連携した企業訪問  施設整備の充実による機能強化</li> </ul>

- ・福島・いわき向け新規プロジェクトの開始  
福島地域：ふくしま繊維関連技術開発促進プロジェクト  
いわき地域：科学プラント保全技術高度化プロジェクト
  
- 知的財産に関する戦略的アプローチ
  - ・知財に関する適切な助言
  - ・研究開発の各段階で、知的財産権の調査等を的確に行う
  
- 情報収集と提供の強化
  - ・ホームページを見やすく、内容を充実する
  - ・SNS や YouTube など積極的な活用
  
- 新体制（専門分野ごとに整理した体制）
  - ・福島といわきの技術支援センター集約化による本部の体制強化
  - 材料技術部（部長：福島地域担当）
    - 「金属・物性科」「分析・化学科」「繊維・高分子科」
  - 電子・機械技術部（部長：いわき地域担当）
    - 「電子・情報科」「機械・加工科」「ロボット・制御科」
  
- ◎県内外の団体との連携・人材育成
  - 再生可能エネルギー関連技術指導
    - ・再エネ関連産業の集積・育成に向けて、ものづくりを支援
  
  - 他機関との連携
    - ・県試験研究機関との横断的連携を図る科学技術調整会議
    - ・福島大学食農学類との連携協定
    - ・産総研、会津大学などとの共同研究
  
  - 大学院等講師派遣
    - ・ハイテクプラザ職員が福島大学大学院生や県内各大学等の教育研究指導を行う
  
  - 研修生受入
    - ・大学生のインターンシップ
    - ・企業等技術者受入研修

【成果】

○所内の人材育成

- ・東北大学大学院農学研究科へハイテクプラザ職員を派遣（ドクター）清酒酵母に関する研究を行う
- ・企業等実地研修（現場理解）

ハイテクプラザは、今年度から福島といわきが郡山本部に統合されたことから、本市の影響を危惧していた。また、福島といわきの設備を郡山本部で受け入れることができるか等の疑問に答える形で説明がなされた。実際に施設を視察し、そのスペースは確保していること。この機会に、新たに精度の良い機器を導入すること。さらに、本部の体制も強化され、福島地域担当部長といわき地域担当部長を配置し、各種の検査・相談等の業務には今まで以上の対応が可能との説明に、不安が解消された。

これだけの設備やスタッフを擁するハイテクプラザは、安価な料金で利用できるため、自前での設備が不要となり、本市の技術水準を押し上げるためにも大いに活用すべきである。本市としても、ハイテクプラザと連携し、各種の産業団体に活用の周知を図るよう提言していく。

活動旅費内訳書

会派名	真政会
議員	渡辺敏彦、半沢正典、小松良行、萩原太郎、白川敏明、大平洋人、二階堂利枝、石山波恵（福島県環境創造センター交流棟に到着後、帰福）
期間	令和4年5月13日(金)
場所	田村郡三春町「福島県環境創造センター交流棟」 郡山市「福島再生可能エネルギー研究所」、「福島県ハイテクプラザ」

鉄道賃	運賃	自 駅至 駅 km( )	円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 至 km( )	
自 至 km( )			
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	1 日分 (1日に付 1,500 円)	1,500	
宿泊料	夜分 (1夜に付 円)	0	
計	県内のため半日当 移動は借り上げバス	1,500 円	

令和4年5月13日

福島市議会議長 真田 広志 様

会派名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

### 活動取消理由書

<p>区 分 (該当をかこむ)</p>	<p>調査研究 ・ 研 修 ・ 広 報 広 聴 ・ 要請陳情活動 ・ 会 議</p>
<p>月 日</p>	<p>令和4年5月13日 (金)</p>
<p>場 所</p>	<p>三春町 福島県環境創造センター 交流棟 郡山市 福島再生可能エネルギー研究所 郡山市 福島県ハイテクプラザ</p>
<p>活動を取り消した者の氏名</p>	<p>石山 波恵</p>
<p>活動取消の理由</p>	<p>三春町の福島県環境創造センター 交流棟に到着したところ、石山波恵議員の母が、意識不明の危篤状態になっているとの連絡があり、急遽福島市の病院に駆けつけるため、戻ることとなったもの。</p>
<p>取消料等の内訳</p>	<p>無し</p>



福島県環境創造センター交流棟 対応者名刺写し



福島県  
環境創造センター

環境創造  
実現可能  
未来を  
つくる

総務企画部長兼企画課長

鈴木 雄一 SUZUKI YUICHI

〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号

Phone: 0247-61-6134 Fax: 0247-61-6119

E-mail: [suzuki\\_yuichi\\_01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:suzuki_yuichi_01@pref.fukushima.lg.jp)

URL: <https://www.fukushima-kankyosozo.jp/>



コミュニケーション福島  
福島県環境創造センター 交流棟

〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号(田村西部工業団地内)

TEL: 0247-61-5721 FAX: 0247-61-5727

E-mail: [REDACTED]

URL: <https://www.com-fukushima.jp>

福島再生可能エネルギー研究所 対応者名刺写し



国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]



〒963-0298 福島県郡山市待池台 2-2-9  
TEL : 050-3648-0103 FAX : 024-963-0824  
E-MAIL : [Redacted]  
URL : <http://www.aist.go.jp>



国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

[Redacted]

[Redacted]



〒963-0298 福島県郡山市待池台 2-2-9  
TEL : 050-3659-1033 FAX : 024-963-0824  
E-MAIL : [Redacted]  
URL : <http://www.aist.go.jp>



国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

[Redacted]

[Redacted]



規格開発エキスパート  
登録番号 SE00381

〒963-0298 福島県郡山市待池台 2-2-9  
TEL : 024-963-0827 FAX : 024-963-0828  
MOBILE : 070-4836-3209  
E-MAIL : [Redacted]  
URL : <http://www.aist.go.jp>



国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

[Redacted]

[Redacted]

〒963-0298 福島県郡山市待池台 2-2-9  
TEL : 024-963-0813 FAX : 024-963-0824  
MOBILE : 050-3659-0823  
E-MAIL : [Redacted]  
URL : <http://www.aist.go.jp/fukushima/>

福島県ハイテクプラザ 対応者名刺写し



**福島県 ハイテクプラザ**

所長  
工学博士 **大和田野 芳郎**  
OWADANO Yoshiro

〒963-0297 福島県郡山市待池台1丁目12番地  
TEL (024)959-1736 FAX (024)959-1761  
E-mail:owadano\_yoshiro\_02@pref.fukushima.lg.jp

ひらや、わらや、  
実現可能  
ふくしま

○福島県  
ハイテクプラザ



ふくしまから  
はじめよう。

副所長(総務)  
はし 橋 本 公 一  
HASHIMOTO Koichi

〒963-0297 福島県郡山市待池台1丁目12番地  
TEL (024)959-1736 FAX (024)959-1761  
E-mail:hashimoto\_kouichi\_01@pref.fukushima.lg.jp

○福島県  
ハイテクプラザ



ふくしまから  
はじめよう。

副所長(業務)  
くり はな しん すけ  
**栗花 信介**  
KURIHANA Shinsuke

〒963-0297 福島県郡山市待池台1丁目12番地  
TEL (024)959-1736 FAX (024)959-1761  
E-mail:kurihana\_shinsuke\_01@pref.fukushima.lg.jp



**福島県 ハイテクプラザ**

材料技術部  
主任専門研究員(兼)部長  
**本田 和夫**  
HONDA Kazuo

〒963-0297 福島県郡山市待池台1丁目12番地  
TEL (024)959-1737 FAX (024)959-1761  
E-mail:honda\_kazuo\_01@pref.fukushima.lg.jp

ひらや、わらや、  
実現可能  
ふくしま



**福島県 ハイテクプラザ**

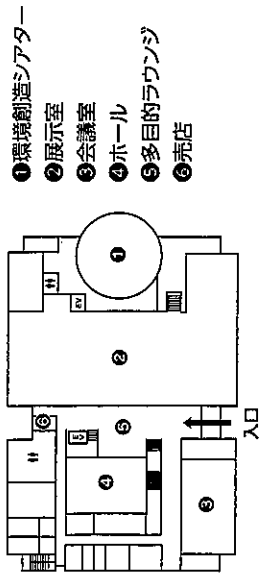
企画連携部  
主任専門研究員(兼)部長  
**山崎 智史**  
YAMAZAKI Satoshi

〒963-0297 福島県郡山市待池台1丁目12番地  
TEL (024)959-1736 FAX (024)959-1761  
E-mail:yamazaki\_satoshi\_01@pref.fukushima.lg.jp

ひらや、わらや、  
実現可能  
ふくしま

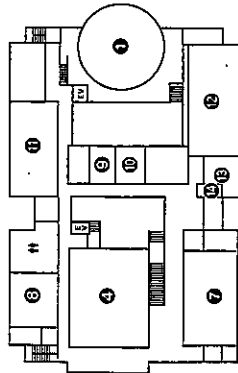
館内フロアMAP

1F



- ① 環境創造シアター
- ② 展示室
- ③ 会議室
- ④ ホール
- ⑤ 多目的ラウンジ
- ⑥ 売店

2F



- ⑦ 学習室A
- ⑧ 学習室B
- ⑨ セミナー室A
- ⑩ セミナー室B
- ⑪ 多目的会議室
- ⑫ 観察テラス
- ⑬ 和室
- ⑭ 授乳室

【体験研修・イベント】

放射線、自然環境、再生可能エネルギーに関する体験研修を行います。このほかにも様々なイベントを開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

体験研修施設放射線の飛ぶ様子の観察



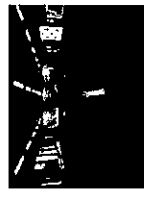
【貸出施設】 利用料金、利用申込についての詳細は、ホームページをご覧ください。



③ 会議室(約100名)



④ ホール(194席)



① 多目的会議室(約70名)

【フリー利用スペース】



⑫ 観察テラス



⑬ 和室



⑭ 授乳室

開館案内

開館時間／午前9時から午後5時まで

休館日／毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌平日)

年末年始(12月29日～1月3日)

令和4年度の展示見学会は、展示更新工事のため

11月13日までとなります。

アクセス

お車でお越しの方

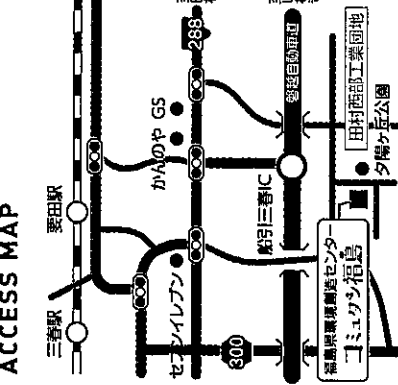
磐城自動車道船引三春IC出口を左折し、国道288号線三春バイパスを進み、田村西部工業団地入口の信号を左折してください。

鉄道でお越しの方

JR磐城東線三春駅より三春町営バスが利用できます。

※「三春町営バス」は環境創造センターをご利用の方は、往復とも無料です。是非ご利用ください。

ACCESS MAP



三春町町営バス時刻表

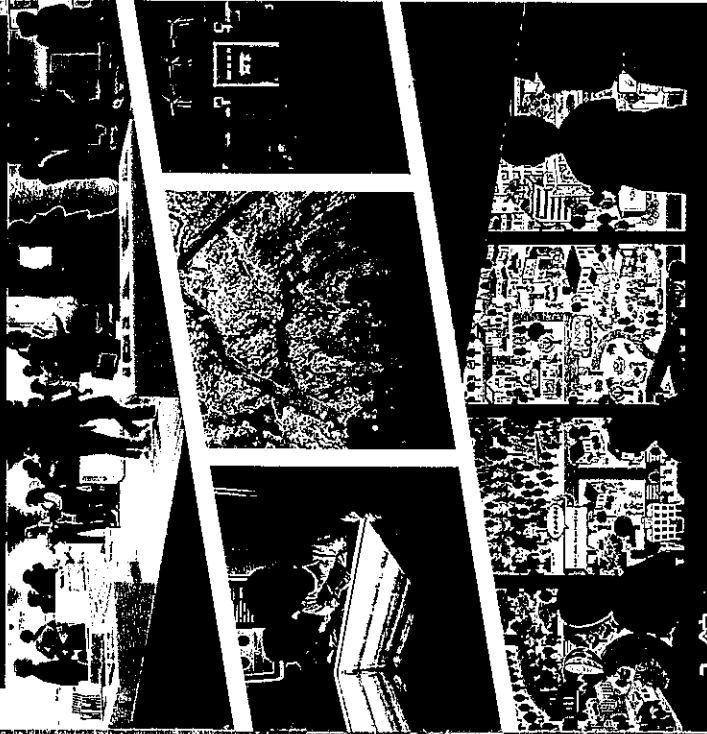
三春駅	船引	三春IC	三春町
10:10	10:23	12:02	12:15
12:47	★ 13:16	★ 14:29	★ 14:58

コミュニティ福島の乗車時刻表

三春駅	船引	三春IC	三春町
10:23	★ 10:52	12:15	★ 12:44
13:16	13:28	14:58	15:10

★マークのバスは三春の里、さくら遊学舎バス停を始発し、まろバス停を最終バス停とする。

展示リニューアルのため、令和4年11月15日から令和5年3月中旬まで、展示見学会は一時休止とさせていただきます。リニューアルされた展示の完成を楽しみにお待ちしております。



入館無料

福島を学び、未来を描く

コミュニティ福島

COMMUTAN FUKUSHIMA



福島県環境創造センター交流棟 コミュニティ福島

お問い合わせ

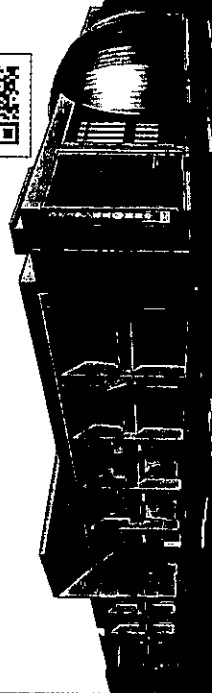
福島県環境創造センター交流棟 コミュニティ福島

〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号(田村西部工業団地内)

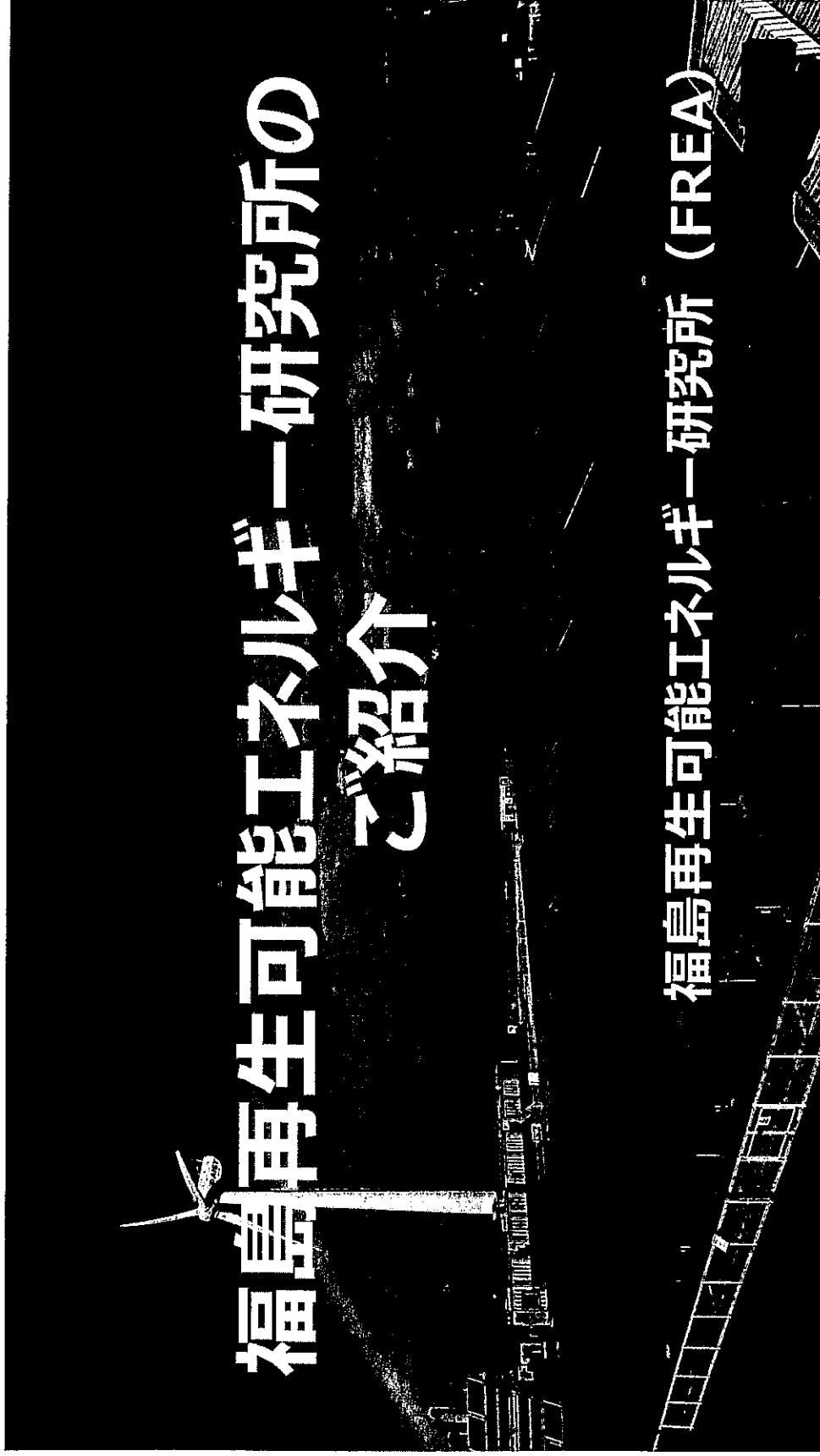
TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

<https://com-fukushima.jp>

検索



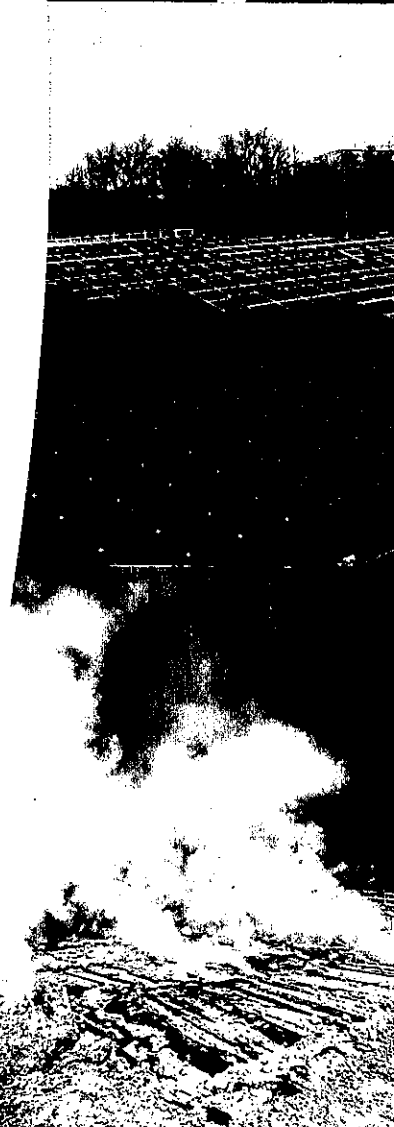
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行う場合がございます。



再生エネルギー技術を  
明日の社会に

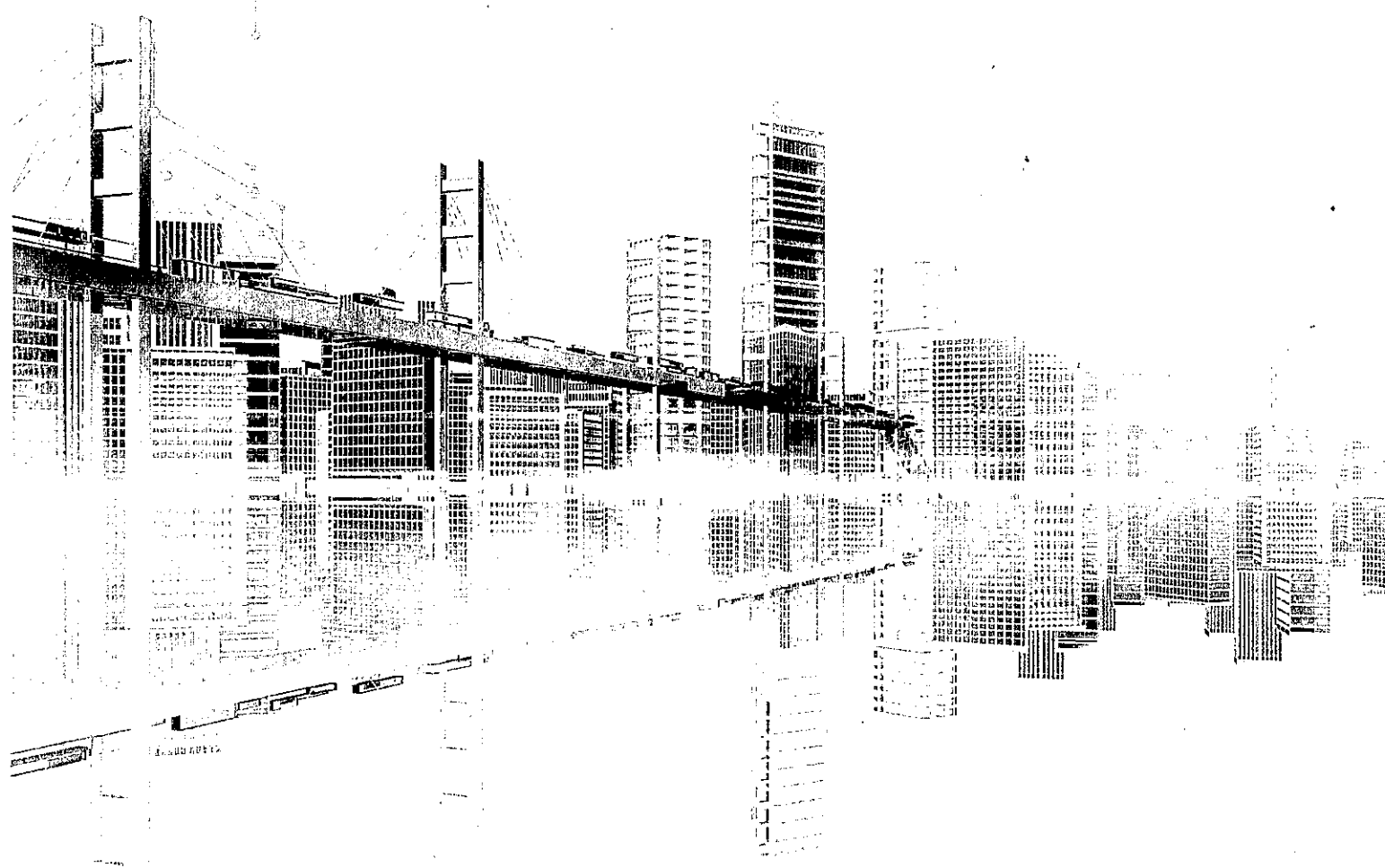


FREA



国立研究開発法人

産業技術総合研究所



令和2～令和3年度(2020～2021年度)

# 被災地企業等再生可能エネルギー 技術シーズ開発・事業化支援事業



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー研究所



# 福島市議会 真政会様 ハイテクプラザ施設視察

日時 令和4年5月13日(金) 14:50～16:30

場所 福島県ハイテクプラザ 3階 会議室

## 次 第

- |   |                               |        |
|---|-------------------------------|--------|
| 1 | 開会                            | 14:50  |
| 2 | あいさつ                          | 14:55  |
| 3 | 説明・質疑「福島県ハイテクプラザの改組と機能強化について」 | 15:00～ |
|   | (休憩 15:50～16:00)              |        |
| 4 | 所内見学                          | 16:00～ |
| 5 | 閉会                            | 16:30  |

実現可能な  
未来を  
共に築く

福島市議会 真政会 様

# 福島県ハイテクプラザの 改組と機能強化について

令和4年5月13日

福島県ハイテクプラザ

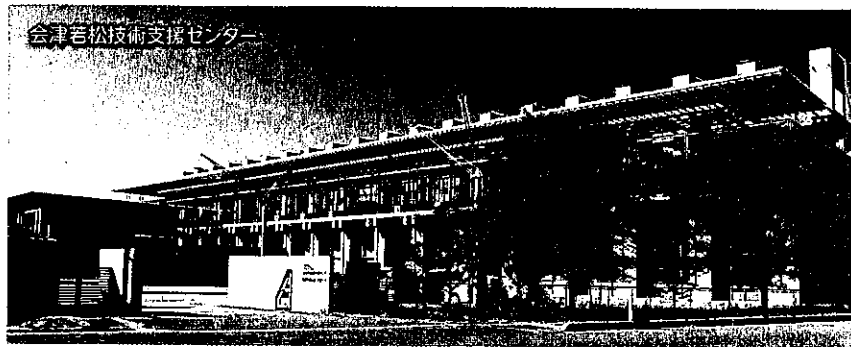
福島県ハイテクプラザ(郡山本部)



# 福島県ハイテクプラザ

FUKUSHIMA TECHNOLOGY CENTRE

工業振興のために様々な技術支援を行う県立の試験研究機関です。



# 事業計画

令和4年度

心と力、心と力、  
実現する  
ふくしま

福島県ハイテクプラザ

FUKUSHIMA TECHNOLOGY CENTRE

# 領収書等添付用紙

No. ( / - / )

## 領収証

真政会

様 No. 1000975

★  
 但し 5/3 貸切バス代とLT  
 ￥81,300-  
 令和4年 5月17日 上記正に領収いたしました

内訳

現金	
小切手	

税抜  
金額

消費税  
額等  
(%)

〒960-8117 福島県福島市入江町13-22

大和自動車交通株式会社

タクシー

TEL. 024-534-6183 FAX. 024-534-6183

バス・旅行

TEL. 024-534-7200 FAX. 024-534-7200



抜者印



# 請求書

請求書No: 00009834-001-01

発行日: 令和04年05月12日

真政会 様

ツアー名: 郡山

期 間: 令和04年05月13日(金) 日帰り

福島県知事登録旅行業 第2-193号

大和自動車交通株式会社

〒960-8117

福島市入江町13番2号

TEL: 024-534-7200

FAX: 024-536-0573

代表取締役: 大村 雅恵

担当者: [Redacted]

このたびは弊社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。下記料金のご請求を申し上げますのでよろしくお願い致します。

合計	お預り金額	ご請求金額
81,300円	0円	81,300円

No.	項目	単価	数量	金額	備考
1	貸切バス代(中型バス)	70,000	1	70,000	貸切バス代(中型バス)
2	"	7,000	1	7,000	消費税
3	高速道路料金(大型車)	4,300	1	4,300	高速道路料金(大型車)

備考 消費税は10%です。

お振込先 [Redacted]

11-3

令和4年3月24日

真政会 様

〒960-8117  
 福島市入江町13番22号  
 大和自動車交通株式会社  
 バス事業部  
 代表取締役 大村 雅  
 TEL 024-534-7200  
 FAX 024-536-0573  
 担当: [REDACTED]

## 御見積書

この度は見積りを賜りありがとうございます。

下記の通り見積もりましたので、御用命頂きますようお願い申し上げます。

見積金額	81,300 円(消費税込)
------	----------------

### 記

期間：令和4年5月13日（金）～ 令和4年5月13日（金） 1 日間

車種：中型車 1 台(正席27席) ガイド：無し

諸料金：バス代 77,000円  
 高速道路料金 福島西IC～船引三春IC 2,420円  
 高速道路料金 郡山IC～福島西IC 1,880円

日程：福島市役所＝＝コミュタン福島＝＝かに徳＝＝  
 9:15 10:15/11:30 12:30/13:10  
 福島再生可能エネルギー研究所＝＝福島県ハイテクプラザ＝＝福島市役所  
 13:30/14:30 14:45/16:15 17:10

以 上

【マニュアル】様式第11号

# 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壱	
1 支払金額	¥	9	0	7	7	7	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年7月25日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	115,880円×7人=811,160円 96,610円×1人=96,610円 合計 907,770円	
理 由	1、北広島市 駅西口エリア活性化事業について 2、登別市 観光振興・外国人観光客誘客について 3、函館市 地域交流まちづくりセンターについて	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明



令和4年6月9日

会派名 真政会

代表者 会長 白川 敏明 様

(議員) 白川 敏明

政務活動承認申請書

<p>区 分 (該当をかこむ)</p>	<p>調査研究・研修・広報 広聴・会議</p>
<p>期 間</p>	<p>令和4年7月25日(月)～7月27日(水)</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>白川 敏明      渡辺 敏彦      半沢 正典 黒沢 仁      小松 良行      萩原 太郎 石山 波恵 大平 洋人(27日に監査があるため登別市視察後帰福) 以上8名</p>
<p>場 所</p>	<p>① 北広島市中央4-2-1 北広島市役所 ② 登別市中央町6-11 登別市役所 ③ 函館市末広町4-19 函館市地域交流まちづくりセンター</p>
<p>目 的</p>	<p>① 北広島駅西口周辺エリア活性化事業において、複合交流拠点施設も建設されることから本市の参考とするため。 ② 温泉を中心とした観光振興及び外国人観光客誘客の取組について、本市政策の参考とするため。 ③ 函館市地域交流まちづくりセンターの視察から、施設建設の経過や成果を聴取し本市政策の参考とするため。</p>

<p>承認欄</p>	<p>(代表者氏名) 会長 白川 敏明</p>
------------	-------------------------

# 御 見 積 書

**福島市議会 真政会 様**

福島ツーリストサービス(株)本社営業所  
代表取締役社長 福地重信

旅行日程	2022年7月25日(月)~2泊3日
行先	北海道 行政視察
参加人数	8名様

〒960-8252福島市御山字検田2-1  
TEL:024-573-5081 FAX024-573-5082  
営業時間 9:30-18:00

**見積金額 310,800 円**

NO.	項目	単価	数量	金額	備考
1	7/25 仙台-千歳	38,300	8	306,400	JAL2903
2	航空券発券手数料	550	8	4,400	
3				0	
4				0	
5				0	
6				0	
7				0	
8				0	
9				0	
10				0	
11				0	
12				0	
<b>合計</b>				<b>310,800</b>	

行程

7/25 仙台空港 10:00---<JAL2903>---新千歳空港 11:15

備考

## 活動旅費内訳書

会派名	真政会
議員	渡辺敏彦、黒沢仁、半沢正典、小松良行、萩原太郎、白川敏明、石山波恵
期間	令和4年7月25日(月)～27日(水)
場所	北海道北広島市「北広島市役所」、登別市「登別市役所」、函館市「函館市地域交流まちづくりセンター」

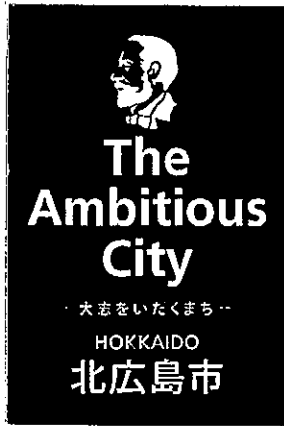
鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 名取 駅 68.6 km(片)	1,170 円
		自 名取 駅至 仙台空港 駅 7.1 km(片)	420 円
		自 新千歳空港 駅至 北広島 駅 24.8 km(片)	560 円
		自 北広島 駅至 登別 駅 89.9 km(片)	1,890 円
		自 幌別 駅至 函館 駅 199.1 km(片)	4,070 円
		自 函館 駅至 福島 駅 607.6 km(片)	10,340 円
	特急急行料金	自 東室蘭 駅至 函館 駅 189.5 km(片)	2,730 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 新函館北斗 駅至 福島 駅 589.7 km(片)	17,250 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 仙台空港 至 新千歳空港 664 km(片)	38,850 円
自 至 km( )			
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	3 日分 (1日に付 3,000 円)	9,000 円	
宿泊料	2 夜分 (1夜に付 14,800 円)	29,600 円	
計		115,880 円	

活動旅費内訳書

21-5

会派名	真政会
議員	大平洋人
期間	令和4年7月25日(月)～26日(火)
場所	北海道北広島市「北広島市役所」、登別市「登別市役所」

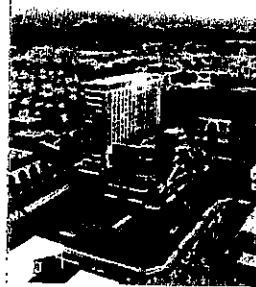
鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 名取 駅 68.6 km(片)	1,170 円
		自 名取 駅至 仙台空港 駅 7.1 km(片)	420 円
		自 新千歳空港 駅至 北広島 駅 24.8 km(片)	560 円
		自 北広島 駅至 登別 駅 89.9 km(片)	1,890 円
		自 幌別 駅至 福島 駅 770.9 km(片)	11,770 円
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 東室蘭 駅至 福島 駅 761.3 km(片)	21,150 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 仙台空港 至 新千歳空港 664 km(片)	38,850 円
自 至 km( )			
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	2 日分 (1日に付 3,000 円)	6,000 円	
宿泊料	1 夜分 (1夜に付 14,800 円)	14,800 円	
計		96,610 円	



北広島市議会事務局

局長  
**砂金 和英**  
いさご

〒061-1192  
北海道北広島市中央4丁目2番地1  
北広島市役所  
TEL(011)372-3311 内線 5200  
FAX(011)372-3600  
✉gikai@city.kitahiroshima.lg.jp (代表)  
✉k.isago@city.kitahiroshima.lg.jp (個人)  
<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>



—大志をいたくまち—

HOKKAIDO  
北広島市

企画財政部企画課  
(駅西口まちづくり)



参事 **牛島 裕幸**  
Ushijima Hiroyuki  
一級建築士

〒061-1192  
北海道北広島市中央4丁目2番地1  
TEL (011) 372-3311 内線 3603  
FAX (011) 372-3850  
e-mail: h.ushijima@city.kitahiroshima.lg.jp  
<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp>

北  
広  
島  
市  
議  
会  
議  
長  
  
川  
崎  
彰  
浩

令和4年8月24日

福島市議会議長 真田 広志 様

会派名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

### 政務活動報告書

区分 (該当をかこむ)	調査研究・研修・広報 広聴・会議
期間	令和4年7月25日(月)～令和4年7月26日(火)
参加者氏名	白川 敏明 渡辺 敏彦 黒沢 仁 半沢 正典 小松 良行 大平 洋人 萩原 太郎 石山 波恵 以上8名
応対者 (名刺の写し添付)	別紙のとおり
場所	北広島市中央4-2-1 北広島市役所 及び、JR北広島駅 西口周辺エリア活性化事業現地
行程 (別紙も可)	福島市 → 北広島市 → 登別市 → 福島市

<p><b>[目的]</b></p> <p><b>[内容]</b></p>	<p>北広島市 駅西口周辺エリア活性化事業について</p> <p>説明者 議会事務局長 砂金 和英氏 企画財政部 企画課 参事 牛島 裕幸氏</p> <p>北広島駅西口周辺エリア活性化事業および複合交流拠点施設の整備が進められており、本市における駅東口再開発事業の参考とし、提言していくため。</p> <p>北広島市の概要</p> <p>石狩平野の中央部に位置し、札幌に隣接するなだらかな丘陵地帯である。明治初期に広島県人が入植して開拓し、クラーク博士が「ゴーズ・ビー・アンビシャス」の名言を残したゆかりの地である。快速電車で札幌まで16分、新千歳空港まで20分と交通の便がよく、2023年春には日本ハムファイターズの新球場が完成予定である。直近の人口は、58,000人を下回っている。</p> <p>①駅西口周辺エリア活性化事業のこれまでの取り組み</p> <p>立地適正化計画 策定（平成30年度）</p> <p>↓</p> <p>サウンディング型市場調査 実施（令和元年度）</p> <p>↓</p> <p>駅西口周辺エリア活性化計画 策定（令和元年度）</p> <p>↓</p> <p>優先交渉権者 選定（令和2年度）</p> <p>↓</p> <p>パートナー協定 締結（令和2年度）</p> <p>↓</p> <p>駅西口周辺エリア活性化整備計画 策定（令和3年度）</p> <p>↓</p> <p>市有地A 個別事業計画 策定（令和3年度）</p> <p>②駅西口周辺エリア活性化整備計画の概要</p> <p>⑦活性化事業のコンセプト</p> <p>地域の住民・事業者・観光客・ファン・ビジネスマンなど まちを大好きな多くの人・多様な人材があつまるホームタウン のベース拠点</p>
---------------------------------------	--

①市有地4か所の活用

- ・市有地 A 3,609㎡  
複合交流拠点 (商業・交流・宿泊機能等)  
駅前広場供用開始 2023年3月  
複合交流拠点整備 完成 2024年
- ・市有地 B 5,514㎡  
複合交流拠点 (居住・商業・子育て等の生活支援)
- ・市有地 C 3,395㎡  
居住機能・生活便利や・生活支援機能等
- ・市有地 D 3,396㎡  
居住機能・生活便利や生活支援機能等

②市有地Aの個別事業計画

○駅前広場の4つの機能

- 1、ボールパークに向かうシャトルバスの専用乗降場と待機場
- 2、増加する駅前広場利用者の動線分散のため歩行者デッキ
- 3、天候に影響されないバス乗降のためのバスシェルター
- 4、歩行者空間の拡大により通行空間・滞留空間の創出

○複合交流拠点施設の概要 (14階建て)

「出会い・交流・体験」多様な暮らしの交流拠点

7-14F ホテル客室

4-5F ホテルラウンジ・レストラン・コワーキング  
カフェテラス&スポーツジム

3F スポーツショップ・サロン・クリニック

1-2F 駐車場・フードホール



○地上から立体的に行き来できる  
個性ある3つの広場・公園空間

1、ゲートパーク（まちと出会う場）

- ・交通機関の待合場所
- ・駅前の憩いの空間
- ・キッチンカーやマルシェ等のイベント開催
- ・プロスポーツクラブによる試合時のイベント開催

2、ライフパーク（にぎわいと熱狂の場）

- ・スポーツ試合開催時のパブリックビューイング
- ・お祭りや、食・音楽イベント
- ・週末のフリーマーケット開催等

3、テラスパーク（憩いの場）

- ・ベンチ等が設置された憩いの空間
- ・隣接店舗のテーブル席設置
- ・テラスを使った交流イベントの実施

### 質問および回答

① 北広島駅西口周辺エリア活性化事業の経緯について

JR 北広島駅西口側に点在している高度利用されていない土地や未利用の市有地がのこされているので、ボールパークのアクセス機能整備と併せて、駅周辺エリアの魅力と価値を高めるような、市有地の効果的活用、及び市有地を含めた一体的な土地利用・機能整備を進める必要があった。

② 複合交流拠点施設の建設にかかる現状を含む経緯について

コンパクトなまちづくりへの転換を図る目的で、JR 北広島駅周辺に子育て世代や若者を呼び込む商業・医療・子育て支援等の都市機能及び居住の誘導や、駅周辺市街地のつながりを強化するために、北広島の顔となる賑わいと交流を生む拠点施設を計画している

③ 総工費を含む、国・県・市・民間の負担割合について

基本パートナー企業で整備を行い、公共部分に関しては

道路法24条を適用し、承認工事で工事を行う。  
また一部の市有地については都市機能誘導施設である子育て支援施設（許可保育所等）の整備も予定していることから都市再構築型優良建築等整備事業の活用を検討中。  
公開空地、歩行者デッキ等共用部に関して補助を活用検討。  
（国1/3 地方1/3 民間事業1/3）

④ 北広島駅西口周辺エリア活性化事業で期待される成果と課題について

- 課題
- 1 日本経済における、燃料や資材高騰による地域経済の活性化及び定住人口促進の不安
  - 2 新駅開業後（2027年）の北広島駅における賑わいの持続向上
  - 3 機運醸成による民有地を含めた一体的な土地利用、機能整備の推進
- 成果
- 1 賑わい、交流充実による魅力向上
  - 2 多様な世代による都市機能誘導
  - 3 求心力向上による都市機能誘導
  - 4 定住、交流、観光人口の増加
  - 5 地域で街を維持管理する仕組み

[成果]

北広島駅西口周辺エリア活性化事業については、日本ハムファイターズの本拠地とする球場が完成することに伴い、来場者の動線を確保することが求められていた。新駅が球場前に設置されることも決まっているとのことであるが、特急列車が停車しないので、ほとんどの来場者は、北広島駅を利用するとみている。そのため、シャトルバスの停留所や待機車両駐車場の確保が急がれていた。

また、西口地区には4か所の市有地を保有していたことから、有効利用の検討を重ね、聴取内容の通り計画を進めている。もともと北広島駅は朝夕の通勤時には人通りが多いが、それ以外はあまり商業施設もなく静かな街だった。

しかし、特筆すべきは、国と道から3分の2の助成を受けながらも、民間事業者が主体となってこの事業を推進していることである。また本市と異なり、駅前に既にあった商業施設等を取り壊し、再び建築するということで、工事期間中の街の賑わいを演出する取り組みについての検討は不要であった。むしろボールパークができることで、今後の交流人口が増えることへの期待を強く感じた。

また、雪国ということも考慮された、駅からのバス乗り場や、複

	<p>合施設までの歩行者デッキが設置される。本市においても、コンベンションホールが建設され、収容人数や稼働率の目標から、歩行者デッキの設置は不可欠と考える。本市の場合は、駅との間に信号機があり、イベント開催時には道路横断のための、待機スペースも確保できないと考えられる。さらに、立体駐車場に入ろうとする車で渋滞することが予想され、事故の要因となりかねない。</p> <p>北広島市には、ボールパークの周辺に、マンションや老人施設の建設も進み、西口周辺エリア活性化事業が完成後に、再び訪れどのような発展を成し遂げたのか確認してみたいと思う程、期待が膨らむ事業であった。本市の計画においても、参考にできるところを提言していく。</p>
--	---

# 福島県福島市議会 行政視察

令和4年7月25日(月) 13時30分から  
庁舎5階 委員会室

1 開 会

2 北広島市議会から歓迎のあいさつ 北広島市議会  
議 長 川崎 彰治

3 福島市議会様からごあいさつ 真政会  
会 長 白川 敏明 様

4 視察項目

・ 駅西口エリア活性化事業について

企画課

参 事 牛島 裕幸

5 質疑応答

6 現地視察

7 閉 会

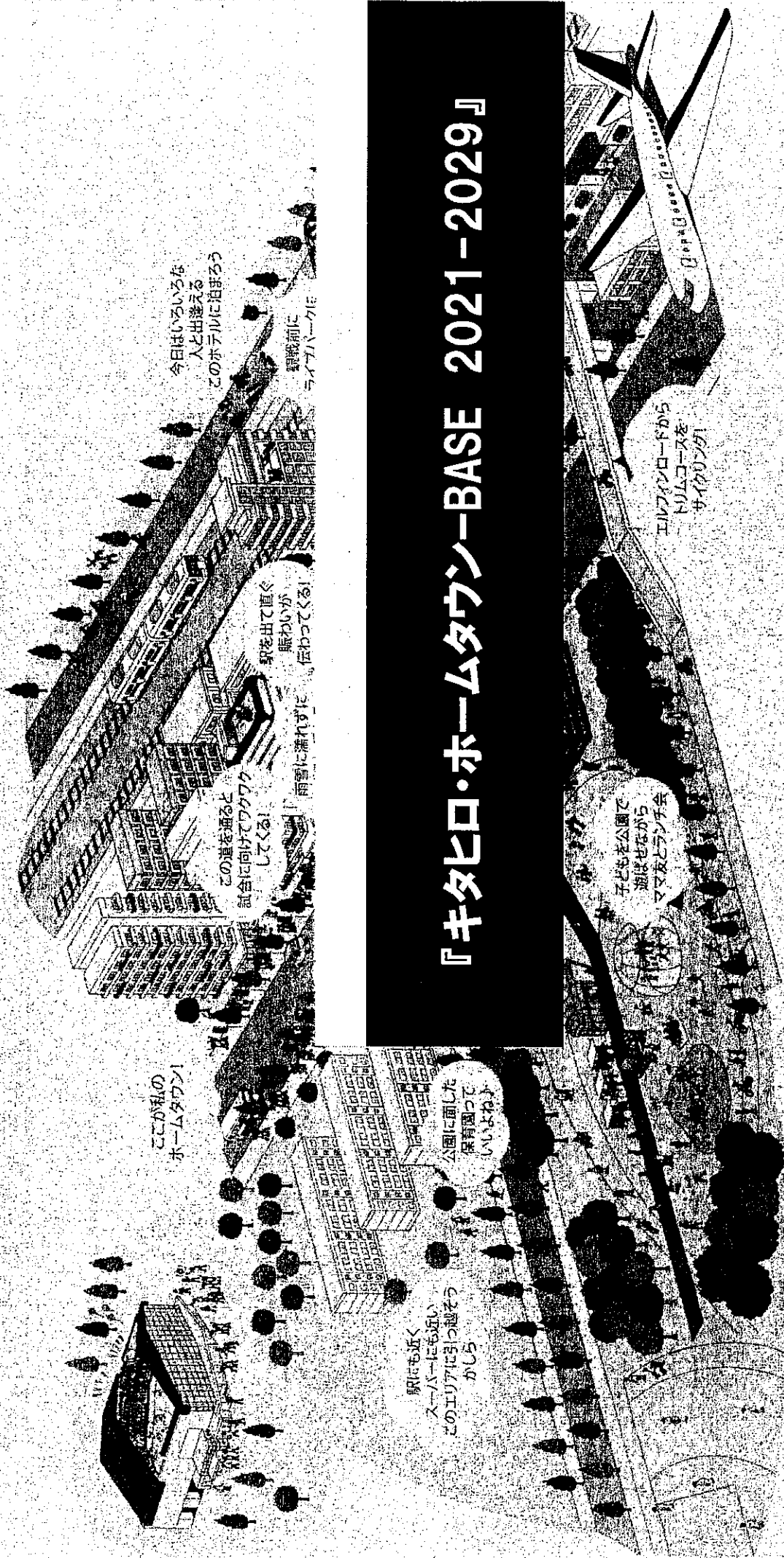
駅西口周辺エリア活性化事業  
市有地A 個別事業計画

A-BASE

HOKKAIDO KITAHIROSHIMA

北広島市





# 『キタヒロ・ホームタウン-BASE 2021-2029』

ここが私の  
ホームタウン!

駅にも近く  
スーパーにも近い  
このエリアは引越そう  
かしら

公園に面した  
保育園って  
いいよね♪

今日はいろいろな  
人と出逢える  
このホテルに泊まるぞ

この道を通ると  
試合に向けてウクウク  
してくる!

駅を出て直ぐ  
賑わいが  
伝わってくる!

雨雲に濡れずに  
両手に満れずには

競技場に  
ライブパフォーマンス

子ども公園で  
遊ばせながら  
ママ友とランチ会

エルフィンロードから  
トリムコースを  
サイクリング!

**ES CON JAPAN**  
IDEAL to REAL

【マニュアル】様式第11号

## 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壺	
1 支払金額	-	1	1	5	6	2	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年7月26日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	白川議員、渡辺議員、黒沢議員、小松議員、萩原議員、石山議員の返金分 19,270円×6人=115,620円	
理 由	北広島市における視察後に、半沢議員が新型コロナウイルスに感染していることが判明したため、その後の視察を取り止め、活動旅費を返金する。	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明

令和4年7月26日

福島市議会議長 真田 広志 様

会派名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

活動取消理由書

<p>区分 (該当をかこむ)</p>	<p>調査研究・研修・広報 広聴・要請陳情活動・会議</p>
<p>月 日</p>	<p>令和4年7月26日(火)～令和4年7月27日(水)</p>
<p>場 所</p>	<p>① 登別市中央町6-11 登別市役所 ② 函館市末広町4-19 函館市地域交流まちづくりセンター</p>
<p>活動を取消し した者の氏名</p>	<p>白川 敏明      渡辺 敏彦      半沢 正典 黒沢 仁        小松 良行      萩原・太郎 石山 波恵      大平 洋人      以上8名</p>
<p>活動取消の理由</p>	<p>半沢正典議員が7月25日に、調査研究のための会派行政視察後に発熱し、病院で検査を受けたところ新型コロナウイルス陽性が判明した。感染拡大防止のため、7月26日、27日の活動を取り消すものである。尚、半沢議員については8月3日まで札幌市内の宿泊療養施設にて療養となる。</p>
<p>取消料等の 内 訳</p>	<p>・白川議員、渡辺議員、黒沢議員、小松議員、萩原議員、石山議員→当初予定の旅費115,880円(2泊3日)から96,610円(1泊2日)に変更する。差額の19,270円×6人=115,620円は返金する。 *大平議員一部行程が変更となるが、当初予定の旅費の金額と同じであるため返金としない。 ・半沢議員→当初予定の旅費115,880円から、60,690円に変更する。差額、55,190円は返金する。</p>



## 活動旅費内訳書

行程変更後

会派名	真政会
議員	渡辺敏彦、黒沢仁、小松良行、萩原太郎、白川敏明、大平洋人、石山波恵
期間	令和4年7月25日(月)～26日(火)
場所	北海道北広島市「北広島市役所」

鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 名取 駅 68.6 km(片)	1,170 円
		自 名取 駅至 仙台空港 駅 7.1 km(片)	420 円
		自 新千歳空港 駅至 北広島 駅 24.8 km(片)	560 円
		自 北広島 駅至 登別 駅 89.9 km(片)	1,890 円
		自 登別 駅至 福島 駅 778.8 km(片)	11,770 円
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 登別 駅至 新函館北斗 駅 189.1 km(片)	3,900 円
		自 新函館北斗 駅至 福島 駅 589.7 km(片)	17,250 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 仙台空港 至 新千歳空港 664 km(片)	38,850 円
自 至 km( )			
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	2 日分 (1日に付 3,000 円)	6,000 円	
宿泊料	1 夜分 (1夜に付 14,800 円)	14,800 円	
計	1日目の視察終了後、半沢議員が発熱したため検査を行ったところ、新型コロナウイルス陽性が判明。このことにより、会派議員は2、3日目の行程をキャンセルしたため、旅費は1泊2日の計算で対応する。2日目となる福島への移動については、移動時間が長時間に及ぶため全日当を支給する。(人事課確認済)	96,610 円	

【マニュアル】様式第11号

## 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壱	
1 支払金額		-	5	5	1	9	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年7月26日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	半沢議員の返金分 115,880円-60,690円=55,190円	
理 由	北広島市における視察後に、半沢議員が新型コロナウイルスに感染していることが判明したため、その後の視察を取り止め、活動旅費を返金する。	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明

活動旅費内訳書

行程変更後

会派名	真政会
議員	半沢正典
期間	令和4年7月25日(月) (7月26日～8月3日までは札幌市内の宿泊療養施設で療養)
場所	北海道北広島市「北広島市役所」

鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 名取 駅 68.6 km(片)	1,170 円
		自 名取 駅至 仙台空港 駅 7.1 km(片)	420 円
		自 新千歳空港 駅至 北広島 駅 24.8 km(片)	560 円
		自 北広島 駅至 登別 駅 89.9 km(片)	1,890 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	円
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 仙台空港 至 新千歳空港 664 km(片)	38,850 円
		自 至 km( )	
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	1 日分 (1日に付 3,000 円)	3,000 円	
宿泊料	1 夜分 (1夜に付 14,800 円)	14,800 円	
計	1日目の視察終了後、発熱したため検査を行ったところ、新型コロナウイルス陽性が判明。現地保健所の指導のもと、病院から札幌市の宿泊療養施設へ移動し8月3日まで療養。このことにより、2日目以降の行程をすべてキャンセル。		60,690 円

【マニュアル】様式第11号

# 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壱	
1 支払金額		¥	2	4	6	1	8	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年8月4日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	半沢議員 24,618円×1人=24,618円	
理 由	北広島市における視察後に、半沢議員が新型コロナウイルスに感染していることが判明したため、札幌市の療養施設で療養することとなった。回復後に本市までの旅費を支給する。	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明

お問合せ番号： [REDACTED]

▼お申込内容

=====

●ご搭乗者

ハンザワ マサノリ 様 (60) 男性  
1961/09/01

=====

●ご搭乗便

路線1：08月04日 (木)  
便名：ANA1228  
発着空港：札幌/新千歳 - 仙台  
発着時間：15:45 - 16:50  
座席クラス：普通席  
運賃種別：  
大人：株主優待割引運賃(変更可)  
金額：  
大人：20,830円×1

=====

合計金額：21,038円 (事務手数料208円含む)

大人1名、小児名、幼児0名、計1名

活動旅費内訳書

行程変更後

会派名	真政会
議員	半沢正典
期間	令和4年8月4日(木)
場所	札幌市内の宿泊療養施設からの帰福分

鉄道賃	運賃	自 札幌 駅至 新千歳空港 駅 46.6 km(片)	1,150 円
		自 仙台空港 駅至 名取 駅 7.1 km(片)	420 円
		自 名取 駅至 福島 駅 68.6 km(片)	1,170 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 札幌 駅至 新千歳空港 駅 46.6 km(片)	840 円
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 新千歳空港 至 仙台空港 664 km(片)	21,038 円
自 至 km( )			
車賃	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	日分 (1日に付 3,000 円)	0 円	
宿泊料	夜分 (1夜に付 14,800 円)	0 円	
計	宿泊療養施設からの帰福の行程	24,618 円	

【マニュアル】様式第11号

# 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	毫		
1	支払金額	¥	7	1	8	8	8	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和4年10月18日

会 派 名    真政会

代表者名   会長   白川 敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	89,860円×8人=718,880円 合計 718,880円	
理 由	① 系魚川ユネスコ世界ジオパークの開設経緯と、活動状況及び来客者の推移等について会議施設のあるフォッサマグナミュージアムにおいて聴取し、本市の参考とするため ② 長野市において開催される市議会議長会フォーラムに出席し、「コロナ後の地域経済」を題とする講演、「デジタル化」についてのパネルディスカッション及び3市の事例報告により本市の参考とするため	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明

令和4年9月1日

会派名 真政会

代表者 会長 白川 敏明 様

(議員) 白川 敏明

政務活動承認申請書

区分 (該当をかこむ)	調査研究・研修・広報 広聴・会議
期間	令和4年10月18日(火)～10月20日(木)
参加者氏名	白川 敏明 渡辺 敏彦 半沢 正典 黒沢 仁 小松 良行 萩原 太郎 石山 波恵 二階堂 利枝 以上8名
場所	① 糸魚川市大字一ノ宮 1313 フォッサマグナミュージアム (18日) ② 長野市若里一丁目 1-3 長野県県民文化会館 (ホクト文化ホール) (19日・20日)
目的	① 糸魚川ユネスコ世界ジオパークの開設経緯と、活動状況及び来客者の推移等について会議施設のあるフォッサマグナミュージアムにおいて聴取し、本市の参考とするため ② 長野市において開催される市議会議長会フォーラムに出席し、「コロナ後の地域経済」を題とする講演、「デジタル化」についてのパネルディスカッション及び3市の事例報告により本市の参考とするため

承認欄	(代表者氏名) 会長 白川 敏明
-----	------------------



令和4年11月15日


福島市議会議長 真田 広志 様

会派名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

政務活動報告書

区分 (該当をかこむ)	調査研究 研修 広報 広聴・会議
期間	令和4年10月18日(火)～令和4年10月20日(木)
参加者氏名	白川 敏明 渡辺 敏彦 黒沢 仁 半沢 正典 小松 良行 萩原 太郎 石山 波恵 二階堂 利枝 以上8名
応対者 (名刺の写し添付)	糸魚川市議会事務局 田上昌幸 糸魚川ジオパーク協議会 [REDACTED] 糸魚川ジオパーク協議会 [REDACTED]
場所	① 糸魚川市大字一ノ宮 1313 フォッサマグナミュージアム (18日) ② 長野市若里一丁目 1-3 長野県県民文化会館 (ホクト文化ホール) (19日・20日)
行程 (別紙も可)	福島市 → 糸魚川市 → 長野市 → 福島市

<p><b>[目的]</b></p> <p><b>[内容]</b></p>	<h3>糸魚川ユネスコ世界ジオパークの取組について</h3> <p>糸魚川市 議会事務局 主査 田上 昌幸氏 説明者 糸魚川ジオパーク協議会 [REDACTED] 同 [REDACTED]</p> <p>糸魚川ユネスコ世界ジオパークの開設経緯と、活動状況及びコロナ禍における来客者の推移等について聴取するとともに、展示施設や会議施設のあるフォッサマグナミュージアムも視察し、本市の観光施設等の参考とするため</p> <h4>糸魚川市の概要</h4> <p>新潟県の最西端に位置し、南は長野県、西は富山県と接する。地域には2つの国立公園と2つの県立自然公園を有し、海岸、山岳、溪谷、温泉など変化に富んだ自然に恵まれる。また、森林資源やヒスイ・石灰岩等の鉱物資源や水資源など地域資源が豊富で、フォッサマグナについては日本列島誕生のなぞを秘めた世界的な学術資源となっている。昭和29年6月1日に市制を施行。令和2年1月の人口は42,000人余、17,000世帯余、面積は746.24㎢である。</p>  <h4>1、糸魚川ジオパークの足跡</h4> <p>①ジオパーク活動のスタート</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・フォッサマグナと地域開発構想（昭和62年） ヒスイやフォッサマグナなど特徴的な地域資源を地域振興に活用する構想（ふるさと創生事業の活用）</li></ul>
---------------------------------------	--

- ・世界に先駆けて地質見学地をジオパークと命名
- ・資源開発と地域振興  
平成2年フォッサマグナパークオープン  
令和元年リニューアルオープン
- ・平成6年フォッサマグナミュージアムオープン  
平成27年北陸新幹線開業に合わせ全面リニューアル

## ②なぜ、ジオパーク

### ㊦貴重な大地の遺産の保護と活用

地質、鉱物、自然、歴史、文化等「地域の宝物」を守り活かす

### ㊧新・糸魚川市の一体感醸成

能生町、糸魚川市、青海町の合併により市民活動の一体感

### ㊨ジオパーク学習による人づくり

郷土を誇り、愛する心をはぐくむ

糸魚川の未来を担う人財を育てる

30年後も持続可能なまちづくり

### ○行政課題の解決ツールとしての機能

人口減少 高齢化 医療 教育 協働

## ③世界ジオパークをみざす歩み

平成16年 世界ジオパークネットワーク発足

平成19年 世界ジオパークをみざす意思表明

平成20年12月 糸魚川ジオパーク協議会設立

日本ジオパークに認定

平成21年8月 国内初、世界ジオパークに認定

香港ジオパークと姉妹提携

## 2、ジオパークの活用

### ①ジオパークネットワーク

・日本ジオパーク 46地域

(うちユネスコ世界ジオパーク 9地域)

ジオパークをみざす地域 10地域

・構成市町村数 258 全国の約15%

・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟

## ②糸魚川ジオパーク協議会

### ⑦基本理念の3本柱

教育・防災 保護・保全 地域振興

### ⑧戦略プロジェクトに定める取組方針

- ・ふるさとの価値の再認識
- ・郷土愛の醸成
- ・交流人口拡大と地域振興

### ⑨協議会の構成員

会長 市長 事務局長 商工観光課長 顧問 2人  
国県関係団体（6）大学関係団体（3） 地域代表（3）  
産業関係団体（7）交通関係団体（5） 観光関係団体（4）  
市民団体（4） 行政組織・市議会（2）合計34団体

### ⑩ 特別委員会

- ・ジオパーク自然資源保全委員会
- ・黒姫山共同開発に対する学術調査委員会
- ・ジオサイトの魅力発信委員会

### ⑪ ジオパークに関する市民アンケート（令和2年）

- ・市民の63.9%が「重要」と回答
- ・市民の32.5%が「満足していない」

## 3、施設の方向性とトピックス

### ⑫文化財指定による保護と活用の推進

- ・糸魚川市根知の糸魚川—静岡構造線
- ・おくのほそ道の風景地・親不知
- ・小滝川ヒスイ峡（国の天然記念物、ヒスイ原石の保護）

### ⑬教育と防災

- ・0~18歳までの子ども一貫教育方針（成果と課題を分析）
- ・地質、歴史、文化、自然など地域の宝物を学ぶ

- ・故郷への愛着と誇りを形成する
- ・自分の将来を設計し、自立して生きる力をはぐくむ
- ・教員向けジオパーク研修会の実施
- ・糸魚川ジオパーク検定 13回実施 受験者 2,673人

4、観光客誘客の促進

㊦ジオパークの3要素

- ・保護・教育と研究・ジオツーリズム（見学旅行）

㊧県内及び隣県からの修学旅行誘致

- ・伝統文化と歴史、豊かな自然、特徴的な大地
- ・1日で「大地と人の関わりを学べる」

㊨体験教育旅行の受入数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
人数	2,515人	3,116人	4,000人	5,718人
県内学校	14校	17校	50校	49校
県外学校	43校	35校	26校	50校
学校合計	57校	52校	76校	99校

㊩フォッサマグナミュージアム年間入館者数

年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人数	40,683	46,411	59,595	59,444	57,981	60,710	61,230
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
39,759	101,720	85,820	90,140	91,547	90,290	46,940	53,400

5、今後の課題と展望

㊦ジオパークの見せ方を工夫する

- ・魅力が高く、印象を抱きやすい「ヒスイ」や豊富な「石」をきっかけに関心を持ってもらう
- ・ジオパークを背景としての様々な資産が実を結びつく事で「石のまち」らしい体験を提供していく
- ・主な事業の展開  
ヒスイ文学賞の募集・石のガイド養成・石のトレカ作成  
「石のかおコンテスト」の開催

㊧糸魚川ジオパーク協議会の組織体制の見直し

- ・行政主導型から民間&行政協働型へ

**【成果】**

- ⑦ジオサイトの見直しと磨き上げ
  - ・ジオサイトの新規登録制度
  - 地域資源の掘り起こし
  - ・地域や団体が主役のボトムアップ活動

日本を二分する断層帯がどのようにしてできたのか、わかりやすく学習する工夫がなされている。糸魚川市ではフォッサマグナパークを平成2年に、ふるさと創生事業を活用しオープンさせた。また、フォッサマグナミュージアムを平成6年にオープンして、観光客の呼び込みに成功した。また、ヒスイは糸魚川市の産業として発展し、特産品としての名声を広げた。しかし、それに甘んじることなく、絶えず課題を見つけ改善していくという姿勢は、本市においても参考となるもので有る。

フォッサマグナミュージアムでは、北陸新幹線の開業により以前の2倍近い入場者となったが、糸魚川市駅北大火により入場者が減少した。また、コロナ禍ではそれまでより半減したが、展示内容や教育旅行等の、広報の工夫により昨年は増加に転じていた。ミュージアムは、市の直営で運営されており、地質学の学芸員5名が在籍しており、高度な専門性を有している。3本柱の理念を堅持し発展させるために、糸魚川市の本気度を認識した。本市においても地域特性をさらにブラッシュアップし、誘客や産業の発展につなげていく必要を提言していく。

**第17回全国市議会議長会研究フォーラムに出席**

テーマ 「デジタルが開く地方議会の未来」

**【目的】**

全国の市議会議長及び市議会議員を対象に、共通の課題を専門家や有識者及び先進的な取組みの自治体から、参考となる意見等を聴取するため

**【内容】**

第1部 基調講演

「コロナ後の地域経済」 富山 和彦氏

株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長

株式会社 日本共創プラットフォーム (JPiX) 代表取締役社長

【成果】

第2部 パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

コーディネーター 人羅 格氏 毎日新聞社論説委員

パネリスト 岩崎 尚子氏 早稲田大学電子政府・自治体研究所  
教授

牧原 出氏 東京大学先端科学技術研究センター  
教授

湯淺 懇道氏 明治大学公共政策大学院ガバナンス  
研究科教授

寺沢 さゆり氏 長野市議会議長

第3部 課題討議

「地方議会のデジタル化の取組報告」

コーディネーター 谷口 尚子氏

慶応義塾大学大学院システムデザイン・  
マネジメント研究科教授

事例報告者 金澤 克仁氏 取手市議会議長

板津 博之氏 可児市議会議長

林 晴信氏 西脇市議会議長

「第1部」ではデジタル化の歴史と背景から、AI 新時代は第4次産業革命とも言われるほど、すべての業種に影響を与えている。講師がかかわっている民営バスの事例を用いて、人出不足・高賃金時代を逆手にとってさらなる成長を目指す取組みについて DX の活用と AI の活用は不可欠との講演に、議員として苦手意識を乗り越えていかなければならない。

「第2部」ではコーディネーターから、まず、市議会のデジタル化の取組状況を①委員会等のオンライン開催状況②タブレット端末の普及状況の説明③会議録の ICT 化の説明を受けた。

岩崎パネリストから、地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性について、災害時の機能発揮等、国民がオブザーバーとして議会運営に参加、さらに非接触型社会の対応等について説明があった。

牧原パネリストからは、審議のオンライン化とデジタル化への対応。

湯淺パネリストからは議会のデジタル化の、メリットと課題が報告され、両面で検討しなければならないことを認識した。

寺沢パネリストから、長野市議会のデジタル化への取組みとして採決システムの導入から、委員会のオンライン開催の導入など、

先進的な取組みが説明された。これは、重大な感染症が蔓延した場合や災害時の機能を維持するためであり、新型コロナ感染症により取組みが加速したものと考えられる。

「第3部」においては3市の議長が、それぞれの取組みを報告し、メリットや課題を実践に基づき報告され、説得力があった。可児市においては、完全オンラインの議会報告会も開催され、多くの方が参加できる報告会となっており将来を見据えた取組みである。本市においては、端末操作の習熟度に差があるため、研修を実施してオンライン会議ができるような環境を整える必要を感じた。

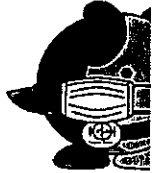


活動旅費内訳書

会派名	真政会
議員	渡辺敏彦、黒沢仁、半沢正典、小松良行、萩原太郎、白川敏明、二階堂利枝、石山波恵
期間	令和4年10月18日(火)～20日(木)
場所	新潟県糸魚川市「フォッサマグナミュージアム」 長野県長野市「ホクト文化ホール」

鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 糸魚川 駅 531.1 km(片)	8,580 円
		自 糸魚川 駅至 長野 駅 96.5 km(片)	1,690 円
		自 長野 駅至 福島 駅 434.6 km(片)	7,150 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 糸魚川 駅至 長野 駅 96.5 km(片)	3,070 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 福島 駅至 大宮 駅 242.5 km(両)	15,440 円
		自 大宮 駅至 糸魚川 駅 288.6 km(片)	9,690 円
		自 長野 駅至 大宮 駅 192.1 km(片)	5,440 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 至 km( )	
自 至 km( )			
車賃	自 糸魚川駅アルプスロ 至 フォッサマグナミュージアム 3.6 km(両)	200 円	
	自 至 km( )		
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	3 日分 (1日に付 3,000 円)	9,000 円	
宿泊料	2 夜分 (1夜に付 14,800 円)	29,600 円	
計		89,860 円	

～ 糸魚川ユネスコ世界ジオパークの取組～  
ふるさとの持続可能な発展を旨として



## 福島市議会 真政会 様



- と き 2022(令和4)年10月18日(火) 13:30～15:30
- ところ フォッサマグナミュージアム

糸魚川ジオパーク 検索

### 視察日程の説明

#### ■ 本日のスケジュール (予定)

時間	内容	備考
13:30	開 会 あいさつ	・司会/糸魚川市議会事務局 田上 昌幸 ・福島市議会 真政会 様
13:40	調査事項 (説明・質疑)	・糸魚川ジオパークについて 説明/糸魚川ジオパーク協議会 ・終了後に休憩/14:20～14:30
14:30	館内見学	・解説/糸魚川ジオパーク協議会
15:30	視察終了	ありがとうございました。おみちよう！

第17回

# 全国市議会議長会 研究フォーラム

National Association of Chairpersons of City Councils



## 参加のご案内

開催日：令和4年10月19日(水)・20日(木)

場 所：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

テーマ：デジタルが開く地方議会の未来

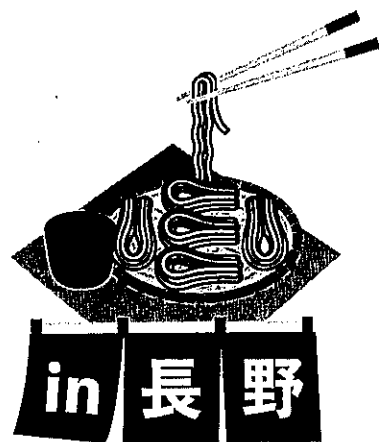
主催：全国市議会議長会 後援：総務省

協賛：全国市議会議員互助会（有）都市企画センター

実施：第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

# 第17回 全国市議会議長会 研究フォーラム

— デジタルが開く地方議会の未来 —



資料集

開催日：令和4年10月19日(水)・20(木)

場 所：ホクト文化ホール

主催：全国市議会議長会 後援：総務省 協賛：全国市議会議員互助会 (有)都市企画センター  
実施：第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

【マニュアル】様式第11号

# 支 払 証 明 書

	百万	拾万	万	千	百	拾	壺	
1 支払金額	1	3	0	7	4	3	0	円

上記の金額を支払ったことを証明いたします。

令和5年1月31日

会 派 名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

区 分 (該当をかこむ)	調 査 研 究 費	研 修 費
	活 動 旅 費	広 報 費
	広 聴 費	要 請 陳 情 活 動 費
	会 議 費	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費	事 務 費
内 訳	145,270円×9人=1,307,430円 合計 1,307,430円	
理 由	①山口市市民交通計画についての聴取 ②宗像市SDGsの取組みについて聴取 ③佐賀市デマンドタクシーについて聴取	
債権者 住所氏名	福島市五老内町3-1	
	真政会	白川 敏明

令和4年12月8日

会派名 真政会

代表者 会長 白川 敏明 様

(議員) 白川 敏明

## 政務活動承認申請書

区分 (該当をかこむ)	調査研究・研修・広報 広聴・会議
期間	令和5年1月31日(火)～2月2日(木)
参加者氏名	白川 敏明 渡辺 敏彦 半沢 正典 黒沢 仁 小松 良行 大平 洋人 萩原 太郎 石山 波恵 二階堂利枝 以上9名
場所	① 山口市亀山町2-1 山口市役所 ② 宗像市東郷1-1-1 宗像市役所 ③ 佐賀市栄町1-1 佐賀市役所
目的	① 山口市市民交通計画について聴取するため ② 宗像市SDGsの取組みについて聴取するため ③ 佐賀市デマンドタクシーについて聴取するため

承認欄	(代表者氏名) 会長 白川 敏明
-----	------------------

令和5年2月15日

福島市議会議長 真田 広志 様

会派名 真政会

代表者名 会長 白川敏明

## 政務活動報告書

区分 (該当をかこむ)	調査研究・研修・広報 広聴・会議
期間	令和5年1月31日(火)～令和5年2月2日(木)
参加者氏名	黒澤 仁 渡辺 敏彦 小松 良行 大平 洋人 萩原 太郎 白川 敏明 半沢正典 石山波恵 二階堂利枝 以上 9 名
応対者 (名刺の写し添付)	別紙のとおり
場所	① 山口市亀山町2-1 山口市役所 ② 宗像市東郷1-1-1 宗像市役所 ③ 佐賀市栄町1-1 佐賀市役所
行程 (別紙も可)	福島市→山口市→宗像市→佐賀市→福島市

	<p><b>山口市市民交通計画について</b></p> <p>応対者 山口市議会議長 入江 幸江氏 議会事務局副主幹 横沼 真介氏 説明者 交通政策課主任主事 藤下 貴文氏 同 平田 真也氏</p> <p><b>[目的]</b></p> <p>山口市では平成19年9月から平成29年度までの10年間「市民交通計画」を推進してきた。その後の10年間で「第2次交通計画」とし、現在、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通を形成するため、望ましい交通の在り方と取組方針を策定している。その状況を聴取し、本市の公共交通政策の参考するため。</p> <p><b>[内容]</b></p> <p>1. 山口市の概要</p> <p>①位置</p> <p>山口県の中央部に位置し、南は瀬戸内海に面し北は島根県萩市、東は防府市、周南市、西は宇部市、美祢市と隣接しており、東西約46km、南北約58km、面積1,023、23km<sup>2</sup>と県で最も広い行政区域面積を有している。主要な幹線道路が東西南北に走り、高速道路や山陽新幹線、山口宇部空港といった広域高速交通網との接続の便が良い。</p> <p>②人口推移</p> <p>平成22年国勢調査において、前回、平成17年調査時の199,297人に比べ2,669人減の196,628人と、人口減少に転じたが、平成27年国勢調査においては197,422人と増加した。しかし、年齢構成は、65歳以上の人口比率が上昇した一方、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）比率は減少している。</p> <p>2. 第二次山口市市民交通計画(山口市地域公共交通網形成計画)</p> <p>①方針及び目標の考え方</p> <p>市民誰もが安心して住み続けるため、市民、事業者、行政が協働して、持続的な公共交通を創り守ることにより、クルマに頼り過ぎない交通まちづくりを目指してきたが、マイカーへの依存が進行し、さらには運転手や地域の担い手不足など新たな課題が生じ、公共交通を取り巻く環境は益々厳しさを増している。</p> <p>「住んでみたい、住み続けたい」と思える山口を目指すために、公共交通を育て支えていくとともに、多様な主体の参画と移動手段を</p>
--	---



組み合わせることにより、次世代を見据えた交通体系の確立を目指す。

## ②基本方針

～マイカーに頼り過ぎないまちづくりを目指して～

育て支えよう！みんなの公共交通

### ア、社会環境の変化

- ・人口減少が進み平成37年には平成27年と比較し約4.6%減少する。
- ・65歳以上人口は、29.7%となる。

### イ、公共交通の現状と課題

- ・利用者の減少に歯止めがかからない。
- ・バスの不採算路線の補助は、10年で2.6倍である。
- ・バスやタクシーの運転手の確保が困難

### ウ、公共交通に対する市民の意識

- ・「公共交通の充実」の重要度は高く、満足度は低い
- ・7割の市民が1年に1回もバスを利用していない。
- ・公共交通は交通弱者にとっては必要なもの」と考えているものの、自らの身近な移動手段とはなっていない。

### エ、公共交通を取り巻く現状と課題

「マイカーに過度に依存した社会の進行」

- ・通勤通学、買い物、通院の主な移動手段はマイカー。
- ・ガソリン消費量は全国1位。

(47都道府県県庁所在地及び政令指定都市との比較)

- ・高齢者の免許保有者数も増加している。
- ・マイカーを中心とした生活により、市街地が拡散し、低密度化している。

### オ、今後の課題

- ・マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりが必要。
- ・公共交通の利便性を向上することが必要。
- ・協働により持続可能な交通まちづくりが必要。
- ・まちづくり各分野政策との連携・連動が必要である。

## ④取組姿勢 「協働」

### ア、市民の役割

持続可能な交通まちづくりの重要性を認識し、公共交通の積極的な利用に努めるとともに、コミュニティ交通の担い手として、主体的に参画し、創意と工夫を凝らし、地域の特性に合った交通システムを整える。

イ、事業者の役割

持続可能な交通まちづくりの重要性を重要な役割を有していることを認識し、培ったノウハウや知恵を生かし、相互の連携を高めることにより、効率的で利便性の高い交通システムを整える。

ウ、行政の役割

持続可能な交通まちづくりの推進にあたり、地域全体を見渡し、地域の特性に応じ適切な交通システムを市民、事業者とともに形成する。また、みんなで育て支える意識作りを積極的に行う。

⑤推進施策

ア、マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりの推進

- ・公共交通を育てる意識の啓発として、利用促進条例の制定、情報の発信、公共交通教室の開催、自転車の利用促進。
- ・毎月第三金曜日をノーマイカーデーとし、市の職員が率先してノーマイカーの取り組みに率先して行う
- ・バス専用レーンの設置など交通規制の実施について調査研究し、マイカーよりも公共交通が優先されるエリアを設定する。
- ・乗降の利便性や後続車の追い越しが容易となるよう、バスベイ型停留所の充実を図る。

イ、利用しやすい公共交通環境の整備

- ・利用者の視点に立ったサービスの向上を図る。
- ・バスルート及びダイヤ、便数を見直し、わかりやすく利用しやすいバス路線網を確立する。
- ・バスロケーションシステムの導入により、バス利用者が正確な運行状況を把握でき、またバス事業者がバスの運行情報や位置情報を把握することで定時性を確保した運行計画をたてる。
- ・誰もが容易に公共交通情報を得られるよう、時刻表やバスマップを発行し、ウェブサイトにはダイヤ情報を提供する。

ウ、日常生活を支える持続可能な生活交通の確保

・コミュニティ交通の運行

地域にふさわしい交通体系を確保するため、地域が主体となって運行するコミュニティタクシーを導入し、運行支援を行う。コミュニティタクシーは地域内運行としているが、生活

範囲が隣接する地域にまたがり、路線が路線バスなどと競合しない場合には地域外へのコミュニティタクシーの運行を可能にするなど、導入しやすい制度の見直しを行う。また、コミュニティタクシーの運行が困難な交通不便地域において、高齢者のタクシーの共同利用に対し、タクシー料金の助成を行うグループタクシー制度を推進する。

- ・コミュニティ交通運営ガイドラインの作成
- ・交通アドバイザーの派遣
- ・地域の交通を考える「話し合い」の支援

エ、公共交通機関の維持・確保

- ・客貨混載の調査研究
- ・運転手の確保
- ・鉄道の利用促進

オ、誰もが気軽に外出できる輸送サービスの提供

- ・福祉制度による移動手段の確保  
福祉優待バス乗車証の発行やタクシー料金の一部助成
- ・利用しやすい運賃の設定
- ・運転免許証自主返納者の公共交通利用支援

⑥豊かな暮らしと交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

ア、公共交通網の構築

- ・公共交通体系にそった路線網の構築（バス路線の再編）
- ・山口都市核におけるバス交通の結節点の調査研究
- ・コミュニティバスの交通体系に沿った見直し
- ・生活バスの維持確保

イ、交流やにぎわいの創出

- ・来訪者が利用しやすい交通環境の整備
- ・公共交通の活用によるおでかけの促進

ウ、推進体制

- ・山口市公共交通委員会  
専門的、横断的な視点から実施施策の成果や今後の動向など継続的に実施し、評価及び検証する。
- ・山口市地域公共交通会議  
コミュニティ交通の運行等に関する協議
- ・山口市有償運送運営協議会

自家用車による公共交通空白地有償運送、福祉有償運送の導入について協議

- ・ 山口市交通対策推進協議会（庁内組織）

地域づくり、都市政策、福祉、観光、経済政策など他の分野政策、計画との横断的な連携

エ、第二次山口市市民交通計画の進捗状況

成果指標	令和2年度	令和3年度	前年度比較
月に1回以上公共交通を利用する割合	15.5%	15.5%	増減なし
公共交通の利便性に満足している	54.1%	53.2%	0.9ポイント減
年間鉄道利用者数	549万人	381万人	168万人減
年間路線バス利用者数	210万人	206万人	4万人減
移動手段が確保されていると思う市民の割合	90.6%	91.6%	1ポイント増
コミュニティタクシー運行地域数	7地域	7地域	増減なし
年間グループタクシー申請者数	1,282人	1,252人	30人減

[成果]

山口市では合併した地区及び交通不便地域の交通弱者の移動手段を確保するため、地域組織が主体となり、市民、事業者、行政が協働し、地域の中心地や基幹交通までを路線バスのように運行する乗り合いタクシーを選択した。行政は地域の意見や要望を聞くとともに、この制度を維持するため地域の協力体制が最も大切なことを改めて認識した。山口市では8地区でコミュニティタクシーを運行しているが、本市においても交通空白地帯が課題となっている地区は存在している。学校の統合によるスクールバス等の運行と合わせて地域の住民も利用できる制度や、安心して自動車運転免許証の返納ができる体制を検討するなど、参考となる事例を本市に提言していく。

<p><b>【目的】</b></p>          <p><b>【内容】</b></p>	<p>宗像市 SDG s の取組みについて</p> <p>応対者 議会事務局局長 中野 晃浩氏 説明者 都市再生課長 内田 忠治氏 街なか再生係長 濱村 隆氏</p> <p>令和5年1月17日に福島市・米沢市・相馬市・伊達市議会連絡協議会の研修において「SDG s とまちづくり」について、米沢市 SDG s 推進参与「伊藤夢人氏」の講演があり、講師が外務省在籍時（2019年）に法人を設立し日本全国でまちづくり系の取り組みから宗像市「団地再生プロジェクト、さとづくり48」を紹介された。本市でも過去に開発された団地が老朽化とともに住人が高齢化し、空き家又は空き室が多くなったアパートの再生が課題となってくる。そのため、紹介された事例を実際に確認し、本市の参考とするため。</p> <p>1、宗像市の概要</p> <p>①地域環境 豊かな自然に囲まれた宗像市は、福岡市と北九州市から約30キロ圏内に位置し、交通アクセスに恵まれた良好な住宅都市として発展してきた。昭和40年代の大型団地開発を背景に人口が急増し、令和4年3月末で96,931人となっており、10数年は横ばい状況である。44,078世帯、面積119.94km<sup>2</sup>。玄界灘に面し「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」として、平成29年7月12日に世界文化遺産に登録される。</p> <p>②土地利用状況の変化 約30年で建物用地の利用面積が936haから2,162haと約2.3倍に拡大されたが、丘陵地を中心に開発が進められ優良農地は保全されている。</p> <p>③住宅建築年数 建築後25年以上の住宅が48.8%を占め、建築後35年以上の住宅は27.2%となっており、今後は老朽化がさらに進展すると推測される。</p> <p>④人口推移と将来人口推計 第2次総合計画策定時の令和7年度時点の目標人口96,000人は達</p>
--	---

成の見込みである。社人研の推計では令和7年度、市の人口ビジョンでは令和12年度に、人口減少に転じる見込みであり、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少を見越した各施策の推進が必要となってくる。

⑤第2次宗像市都市計画マスタープラン（平成27年5月～）

基本理念：宗像版集約型都市構造の形成  
市街地や主要な都市機能が分散して立地

↓

多極連携の集約型都市構造を目指す

↓

ア、各コミュニティ内での生活利便性を維持する

↓

イ、駅周辺への都市機能の集約化

↓

ウ、公共公益施設を地域の個性・魅力づくりに活用

↓

エ、交通ネットワークを強化し公共交通の利便性を高める

↓

オ、集約型都市構造の形成は緩やかに進める

⑥宗像市立地適正化計画（平成30年4月～）

【居住誘導区域】

商業施設や医療・福祉施設などやコミュニティが持続的に確保されるよう居住の密度を高めていく区域

【都市機能誘導区域】

居住誘導区域の中でも特にまち全体として必要な都市機能の維持と新規立地を促す区域

⑦団地の概要

明治・大正期の鉄道開通を機に赤間、東郷などの駅周辺に市街地が形成されはじめ、昭和40年前後に鹿児島本線の電化、宗像バイパスの開通に伴い、大規模な住宅団地開発、大学の建設などが相次いで進む。

2、団地再生取り組みの概要

①現状と課題

昭和40年代に開発が始まった大型団地（日の里・自由が丘）は居住人口の減少、高齢化、住宅の老朽化とともに空き家の顕在化が

進行している。そのため、住み替えや建て替え等の定住促進へ向けた取組みが喫緊の課題となっている。

## ②対応方針

住環境の優位性を活かしたまちの質の向上と、豊かな暮らし方を提供できる良好な住環境づくり

日の里地区：広域交通の便が良好

自由が丘地区：公共交通軸が充実

## ③主な取組み

平成25年度に都市再生庁舎内プロジェクトチームを創設し、団地再生等の調査研究を開始する。その後、毎年テーマや、地域ごとに調査や利活用の検討を行ってきた。

## ④宗像市都市再生プロジェクト専門会議

ア、目的

良好な住環境づくりへの具体的かつ実現可能な事業や取組みを検討するため、及びまちづくりを専門とする民間事業者や有識者等による意見交換を行い、都市再生事業に関する意見やアイデアを提言していただく。

イ、会議による実績

- ・第1回 日の里団地、自由が丘団地の現地視察  
宗像市都市再生戦略について
- ・第2回 千里ニュータウンなどの事例から再生を考える  
空き家活用・地域づくりから再生を考える
- ・第3回 パークアンドライドの活用と都市再生について  
既存郊外住宅地の再生
- ・第4回 都市政策の立場から再生を考える  
専門家会議提言書の取りまとめ

ウ、専門家会議委員の役割と所属

- ・コーディネーター  
株式会社醇建築まちづくり研究所 所長
- ・委員  
積水ハウス（株）執行役員 福岡マンション事業部長  
（株）福岡銀行 執行役員・公務金融法人部長  
西日本鉄道（株）自動車事業本部営業部 営業第二課 課長  
九州工業大学 工学研究院 建設社会工学研究系 教授

九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門准教授  
福岡県 建築都市部長

副市長

・オブザーバー

独立行政法人 都市再生機構 九州支社 団地マネージャー

#### ⑤日の里地区の概要

- ・事業名称「宗像都市計画事業東郷土地区画整理事業」、施行者は日本住宅公団（現都市再生機構）であり、施工面積は、2,176,723 m<sup>2</sup>、施工期間は昭和36年から45年であり、計画戸数 5,100 戸、計画人口は 20,000 人である。
- ・地区内に、郵便局、小学校 2 校、中学校 1 校がある。
- ・地区北部に JR 鹿児島本線が通り、東郷駅がある。また、国道 3 号にも隣接しており、広域交通の便に恵まれている。
- ・同時期に同世代が入居し、半世紀が経過した現在、高齢化や空き家の急速な進行が危惧されている。団地の一部にはエレベーターがない。
- ・宗像市全体の高齢化率は 30.1%、日の里地区は 35.3%である。

### 3、日の里団地集約再編事業

#### ①ハイブリット型団地再生「宗像・日の里モデル」

- ・跡地の活用について、地元住民と意見交換を実施。UR 都市機構が行う公募条件に要望が反映される
- ・令和 2 年 3 月 26 日、宗像市日の里団地共同企業体と日の里地区まちづくりに関する連携協定締結  
（住友林業他計 10 者＋一般社団法人住宅生産振興財団、独立行政法人都市再生機構九州支社、宗像市の 13 者）

#### ②日の里団地再生コンセプト（事業者提案）

サステイナブル コミュニティ

- ・過去から現在へと 50 年間続いてきた日の里コミュニティを未来に向けて次の 50 年をデザインする。
- ・コミュニティは持続可能性を軸に据え、社会の在り方を常に考えるものとして捉える。
- ・豊かな自然とおいしい食、歴史的文化遺産等、守り続けてきたものを大切にしながら、新しい風や多様なものを受け入れる。
- ・新たなチャレンジを起こし、進化するコミュニティを実現する。



③コミュニティ創発型「サトヤマ」住宅

- ・敷地面積 165~220 m<sup>2</sup>
- ・区画数 64区画
- ・環境配慮項目 長期優良住宅の認定や高効率給湯器の採用
- ・建物の高さ 最高10m

④子ども達とまちの景色を変える

ア、ウォールアートプロジェクト

- ・国道3号からのアンダーパスの壁面には落書きがあるので壁面を描いてイメージアップを図るため「福岡教育大学 教授」指導による「日の里中学校、宗像高校美術部」を中心に作成

イ、東街区建設仮囲いデザイン提案

- ・再生事業を囲む建設仮囲いは殺風景なので「日の里」の未来を創造した絵を描く

ウ、中学生のアイデアを大人が本気で実現した団地クライミング

- ・団地の壁を利用しクライミングウォールを作り、若者が集まる場所を作る
- ・アイデアを実現するためクラウドファンディングを実施し約1か月半で2,752,000円が集まる。

4、国土交通省第1回まちづくりアワード特別賞受賞

①取組名称

「さとづくり48（フォーティーエイト）」  
宗像市日の里団地における団地再生プロジェクト

②活動概要

築50年が経過した団地群について、既存棟の活用と新築の戸建て販売というハイブリット型の団地再生事業を行い、既存の48号棟を改修した生活利便施設「ひのさと48」を拠点に、地域コミュニティの形成に貢献した。

③選定理由

「ひのさと48」には、地域に開かれたコミュニティスペースを設けるとともに、空き室を認可保育園、福祉療育施設、ウクレレ工房、多種多様な施設が入居しており、団地住民・学生・地元企業や域外企業、大学、移住者等がつながる取組は、団地再生の好例として先導性、多様性が高く評価された。

【成果】

宗像市は2つの政令都市のベッドタウンとして急激な開発と団地の造成が行われてきた。特に5階建てのアパートにはエレベーターがなく、4階5階が空き室となっている状況であった。その問題解決のために、地域住民が話し合い、その要望を市や再開発業者が受け止めて、実現したところに成功のカギを感じた。

また、実際に現地を視察し、「ひのさと48」のクライミングウォールは新鮮で、若者が休みの日に壁面を登る姿が想像された。アパート5棟が解体された跡地には、別荘の雰囲気漂わせる植林があり、境界の塀も植え込みもない1戸建て住宅に思わず住みたくなる感情が湧いてきた。本市の市営住宅や県営住宅も、宗像市と同様の状況にある地区も散見されることから、地区住民も含めて協議していけるような制度を検討していく。

佐賀市デマンドタクシーについて

対応者	議会事務副局長	倉持 直幸氏
	議会事務局総務課	加藤 芳昌氏
説明者	交通政策課長	大塚 智樹氏
	交通政策係長	内川 省二氏
	交通政策課	野田 滋代氏

【目的】

福島市においての課題の一つは、公共交通空白地域に住む方々の移動手段についてであり、高齢になっても自動車を運転しなければならない状況にある。全国的にも高齢者が運転する事故の報道が続いており、免許を返納しても生活に必要な移動を確保しなければならない。そのため、先進的な佐賀市を視察し、本市の参考とする。

【内容】

1、佐賀市の概要

①佐賀市の状況

平成17年10月旧佐賀市、旧富士市、旧諸富町、旧大和町、旧三瀬村と合併して新しい佐賀市となる。平成19年10月旧副町、旧東与賀町、旧久保田町を編入合併し、面積431.84km<sup>2</sup>となり、令和4年12月末現在人口229,445人である。

②佐賀市の将来人口について

第2次佐賀市総合計画においては将来に渡って人口減少が予想され、2060年に現在の3分の2の14万人程にと予想される。

③旧市町村別高齢化率について

8市町村のうち旧富士町、旧三瀬村は2人に1人が65歳以上であり他は、3人に1人が65歳以上であり今後、高齢化率が上昇することが予想される。

④県内路線バスの輸送人員の推移

昭和55年度との比較で利用者は約4分の1人と大幅に減少したが近年はほぼ横ばい状況である

⑤佐賀市営バス輸送人員の推移

市営バスも昭和時代に比べ同じく4分の1人程に減少したが、近年は持ち直しつつあった。しかし、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少している。

⑥市内の乗用車保有台数

市民の乗用車保有台数は年々増加し、令和2年に143,908台と過去最高を記録したが、令和3年は減少に転じた。

2、佐賀市の公共交通

①公共交通の概要

市内は路線バス、コミュニティーバス・タクシー等が交通網を形成し路線バスは市営バスと民間の3社が運行している

②公共交通ビジョンについて

公共交通のめざすべき理念と、基本的な考え及び施策の方向性を示す「佐賀市公共交通ビジョン」を策定。平成23年度から令和2年度までの10年間としていたが令和4年度まで延長し、今年度末に「佐賀市地域公共交通計画」を策定予定

③公共交通の基本理念

- ・人と環境にやさしい公共交通を活かしたコンパクトなまちづくりの推進
- ・みんなで守り育てる快適で利用しやすい公共交通の構築

④ビジョンの基本的な考え方と施策の概要

ア、利便性・効率性の高い公共交通ネットワークの構築

- ・バス会社に沿線市町と強調して欠損補助を行うことでバス路線を維持
- ・市営バスのバス停に屋根やベンチを設置し、バス待ち環境を

改善

- ・ノンステップバスの導入を支援し、バリアフリー化を推進
- ・「nimoca」を活用し、市営バスにおいて中高生向け格安定期券の販売や乗り継ぎ割引の創設をすることで利便性を向上
- ・市営バスの運行状況や走行位置を確認できるバス・ロケーションシステム導入を支援

イ、地域特性に応じた多様な公共交通の実現

- ・中心市街地及びその周辺地域の移動手段の検討
- ・北部地域の移動手段の改善→デマンドタクシー
- ・中部地域及び南部地域の公共交通の導入  
⇒山間部において、地元住民等からなる公共交通検討会議を設置し、移動手段について議論し、意見を反映  
⇒検討会議での議論をもとに、富士町コミュニティバス  
三瀬地区コミュニティバス、松梅地区デマンドタクシーを運行する

ウ、協働と連携による公共交通施策の推進

- ・「佐賀市バス路線マップ」を作成し、転入者に配布する
- ・佐賀駅バスセンターの乗り場を「事業者別」から「方部別」に再編し、ダイヤ改正を通して運行間隔を調整するとともにサイネージを設置し、わかりやすい乗り場案内を実施した
- ・「ぬる湯くつろぎきっぷ」を販売する昭和バスト協力し、観光客のバス利用を促進
- ・バスクイズラリー、ゾンビランドサガラッピングバスの運行などによりバス利用を促進した

⑤コミュニティバスの概要

- ・地区の公民館など特定の場所にバス停を設置し、決まったルートを時刻表通りに運行する
- ・予約は不要だが、バス停以外での乗り降りは不可

⑥デマンドタクシーの概要

- ・運行ルートを予め定めず、利用者の予約に応じて運行する
- ・任意の場所を乗降場所に指定でき、運行ルートや到着時刻は予約に応じて変更する

3、デマンドタクシー制度実施の経緯

- ・平成16年松梅地区を運行していた路線バスが廃止となる

- ・平成19年交通空白地解消対策として住民の要望を受け市が民間会社に委託。
- ・平成23年地区住民のアンケート調査をおこない地域の実情に応じた運行形態を検討した結果10人乗りのジャンボタクシー等の利用し予約に応じ運行するデマンドタクシーに改善
- ・平成24年9月循環バス運行終了し10月デマンドタクシー運行開始

#### 4、デマンドタクシーの取り組み状況・利用法

##### 利用人数・利用料金について

- ・利用対象者は松梅地区の住人
- ・令和5年1月現在利用登録者数842人
- ・松梅地区344世帯877人で8割以上が登録している
- ・利用者は松梅地区外から小中学校に通う生徒、保護者や
- ・勤務地が地区内にある方、土日祝に限り観光客も大丈夫
- ・観光客以外は事前か登録が一度のみ必要
- ・利用時は定められた時間まで電話予約が必要となる
- ・運用11年目にして10万人達成
- ・運賃は距離により違うが大人300円～400円小学生以下は半額、回数券、定期券、高齢者、障害者など割引制度あり

#### 5、松梅地区デマンドタクシーの特徴について

松梅地区に住んでいる方々は、路線バスに続き循環バスも廃止となりデマンドタクシーを、みんなで利用を呼びかけあうことにより毎年利用者が増加した。地域の移動手段をみんなで維持、確保しようという機運が生まれている。地域住民等から組織される検討会議で運行内容が常に議論されるため、必要とあれば運行ダイヤの見直しをし、住民の声が反映されて使い勝手のよいデマンドタクシーを目指している。

また乗車30分前まで予約ができ、自宅から目的地まで送迎する「ドアツードア」で、利便性の高いサービスのため年々利用者が増加している。

### 【成果】

今回、佐賀市の取り組みの一つ松梅地区デマンドタクシーについて聴取したが、デマンドタクシーが成功している地域は、路線バス、循環バス2度の運行廃止を経験した。その後、住民らによる「松梅地区公共交通活性化協議会」を立ち上げ一年にわたる議論を行い、住民たちが交通空白地帯にならないように動いたことが大きいと感じた。

また、導入にあたり地域が運営主体となり交通事業者へ運行を委託し、行政が運行内容の検討や利用促進にあたっての取り組みを支援するなど、地域・交通事業者・行政の三者が連携を図りながら取り組んでいることが継続できる理由と認識した。

そのほか、佐賀市とタクシー事業者との間で運行協定書を締結し（基礎的経費、月 52,000 円、運行費例経費、1 便あたり 2,960 円）を佐賀市から、さらに、運行経費のうち運行収入及び国庫補助を除く赤字額に対し補助金を支出している。令和3年度は佐賀市の補助額は 6,059,630 円となっている。地方に行けば行くほどマイカーが一家に一台の状況となっており、路線バスの利用人数も減っている現状である。そのため、佐賀県としてはもっと公共交通機関の利用促進のため 1 億 7 千万円を投じて月に一度水曜日と日曜日をバス利用無料にする取り組みを行っている。

本市としても参考となる施策が多くあったが、本市に合う取り組みを検討していかなければならない。これから益々高齢者が増えていくが、その高齢者が公共交通機関を利用できる身体づくりも必要と考える。また、すでに公共交通空白地域に住んでいる方々がどのように、デマンドタクシー、コミュニティーバスを利用できる仕組みづくりを構築するかを、住民アンケートなど行い必要性を訴え、行政・交通事業者と共に進めていかなければ実現しないと感じた。

本市としても、今後の利用度が少ないバス路線などは、住民の声を聴きながらダイヤの見直しや運行形態などを検討し市民のニーズにマッチした交通機関に変えていく必要があるため、佐賀市の視察を参考としていく。

## 活動旅費内訳書

59-4

会派名	真政会
議員	渡辺敏彦、黒沢仁、半沢正典、小松良行、萩原太郎、白川敏明、二階堂利枝、大平洋人、石山波恵
期間	令和5年1月31日(火)～2月2日(木)
場所	山口県山口市「山口市役所」、福岡県宗像市「宗像市役所」、佐賀県佐賀市「佐賀市役所」

鉄道賃	運賃	自 福島 駅至 山口 駅 1312.5 km(片)	15,070 円
		自 山口 駅至 東郷 駅 133.1 km(片)	2,390 円
		自 東郷 駅至 佐賀 駅 81.1 km(片)	1,680 円
		自 羽田空港国内線ターミナル 駅至 品川 駅 14.5 km(片)	300 円
		自 品川 駅至 福島 駅 279.6 km(片)	4,840 円
		自 駅至 駅 km( )	
	特急急行料金	自 新山口 駅至 小倉 駅 80.7 km(片)	2,090 円
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	グリーン料金	自 福島 駅至 東京 駅 272.8 km(両)	15,860 円
		自 東京 駅至 新山口 駅 1027 km(片)	16,030 円
		自 駅至 駅 km(片)	
		自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	指定席料金	自 駅至 駅 km( )	
		自 駅至 駅 km( )	
	航空賃	自 佐賀空港 至 羽田空港 1130 km(片)	47,470 円
自 至 km( )			
車賃	自 東郷駅東口 至 宗像市役所前 1.4 km(両)	340 円	
	自 佐賀駅バスセンター 至 佐賀空港 12 km(片)	600 円	
	自 至 km( )		
	滞在 日分 (1日に付 円)	0	
日当	3 日分 (1日に付 3,000 円)	9,000 円	
宿泊料	2 夜分 (1夜に付 14,800 円)	29,600 円	
計	福島～山口は視察時間に間に合う新幹線がないため、のぞみ利用	145,270 円	

59-5

2022/12/21

# 御 請 求 書

**福島市議会 真政会 様**

福島ツアーリストサービス(株) 本社営業所  
代表取締役社長 福地 重信

〒960-8252 福島市御山字検田2-1

TEL:024-573-5081 FAX024-573-5082

旅行日程	2023年1月31(火)~2泊3日
行先	山口・福岡・佐賀 行政視察
参加人数	9名

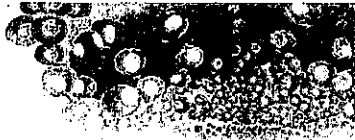
**見積金額** **¥427,230**

NO	項 目	単価	数量	金 額	備考
1	航空券代	47,470	9	427,230	普通運賃(フレックス)
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
合計				427,230	


### 備考

<予約内容>  
2/2(木) 佐賀空港12:15-----羽田空港13:45 ANA982






山口市議会  
議長  
入江幸江



山口市議会  
ホームページ

議会事務局  
山口市亀山町2番1号  
電話(083)934-2854




山口市

市議会事務局  
総務調査担当  
副主幹

横沼 真介

YOKONUMA Shinsuke

〒753-8650 山口市亀山町2番1号  
TEL 083-934-2854 FAX 083-934-2658  
E-mail:gikai@city.yamaguchi.lg.jp



豊かな暮らし  
交流と創造のまち山口  
これが私のふるさとだ



山口市

都市整備部  
交通政策課 交通政策担当  
主任主事

藤下 貴文

FUJISHITA Atsunori

〒753-8650 山口市亀山町2番1号  
TEL:083-934-2729 FAX:083-934-2959  
E-mail:kotsu@city.yamaguchi.lg.jp



豊かな暮らし  
交流と創造のまち山口  
これが私のふるさとだ



山口市

都市整備部  
交通政策課 交通政策担当

平田 真也

HIRATA Shinya

〒753-8650 山口市亀山町2番1号  
TEL:083-934-2729 FAX:083-934-2959  
E-mail:kotsu@city.yamaguchi.lg.jp



豊かな暮らし  
交流と創造のまち山口  
これが私のふるさとだ



宗像市  
議会事務局

局長兼議事調査課長

中野 晃浩 Nakano Akihiro

世界遺産CITY

宗像

Sacred Island of Okiyoshima and  
Ancient Sites in the Munakata Region

〒811-3492 福岡県宗像市東郷1丁目1番1号

TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591

☒ naka0562@city.munakata.lg.jp

http://www.city.munakata.lg.jp



宗像市 都市再生部  
都市再生課長

内田 忠治

UCHIDA Tadaharu

都市計画ビジュアルコミュニケーター登録(第00040号)  
宅地建物取引士(福岡第026033号)



SDGs未来都市



〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号

TEL 0940-36-9777 FAX 0940-36-7005

☒ utid0636@city.munakata.lg.jp

saisei@city.munakata.lg.jp



宗像市  
都市再生部 都市再生課

街なか再生係長

濱村 隆 Hamamura Takashi

世界遺産CITY

宗像

Sacred Island of Okiyoshima and  
Ancient Sites in the Munakata Region

〒811-3492 福岡県宗像市東郷1丁目1番1号

TEL 0940-36-9777 FAX 0940-37-1242

☒ hama0999@city.munakata.lg.jp

☒ saisei@city.munakata.lg.jp (官公庁)

2017年7月、世界遺産登録決定「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



佐賀市議会事務局

副局長兼議会総務課長

くらもち おおゆき  
倉持直幸

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7310(直)  
FAX 0952-25-5407  
URL: <http://sagashi-gikai.gijiroku.com/>  
E-mail: [nkuramochi@citysaga.lg.jp](mailto:nkuramochi@citysaga.lg.jp)



佐賀市議会事務局  
議会総務課

加藤芳昌

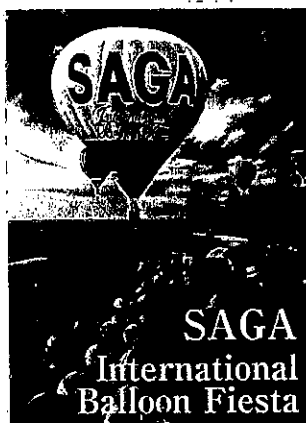
〒840-8501  
佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7310  
FAX 0952-25-5407  
E-mail: [ykatou@city.saga.lg.jp](mailto:ykatou@city.saga.lg.jp)



佐賀市企画調整部  
交通政策課長

大塚智樹

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7038  
FAX 0952-40-7381  
E-mail: [totsuka@city.saga.lg.jp](mailto:totsuka@city.saga.lg.jp)



佐賀市企画調整部  
交通政策課

交通政策係長  
内川省三

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7038 FAX 0952-40-7381  
E-mail: [suchikawa@city.saga.lg.jp](mailto:suchikawa@city.saga.lg.jp)



佐賀市  
企画調整部 交通政策課

野田滋代

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7038  
FAX 0952-40-7381  
E-mail: [sgynoda@city.saga.lg.jp](mailto:sgynoda@city.saga.lg.jp)  
URL: <https://www.city.saga.lg.jp>

# 山口市視察調査事項

令和5年1月31日(火) 14:00~  
山口市役所 第2委員会室

## 『山口市市民交通計について』

- 1 市民交通計画策定の経緯(第2次計画を含む)
- 2 市民交通計画の施策について  
高齢者に対する運転免許返納後の足の確保対策  
高齢者の公共交通利用の取組み等
- 3 市民交通計画の成果と課題
- 4 市民交通計画に対する国の助成と市の負担について

1403

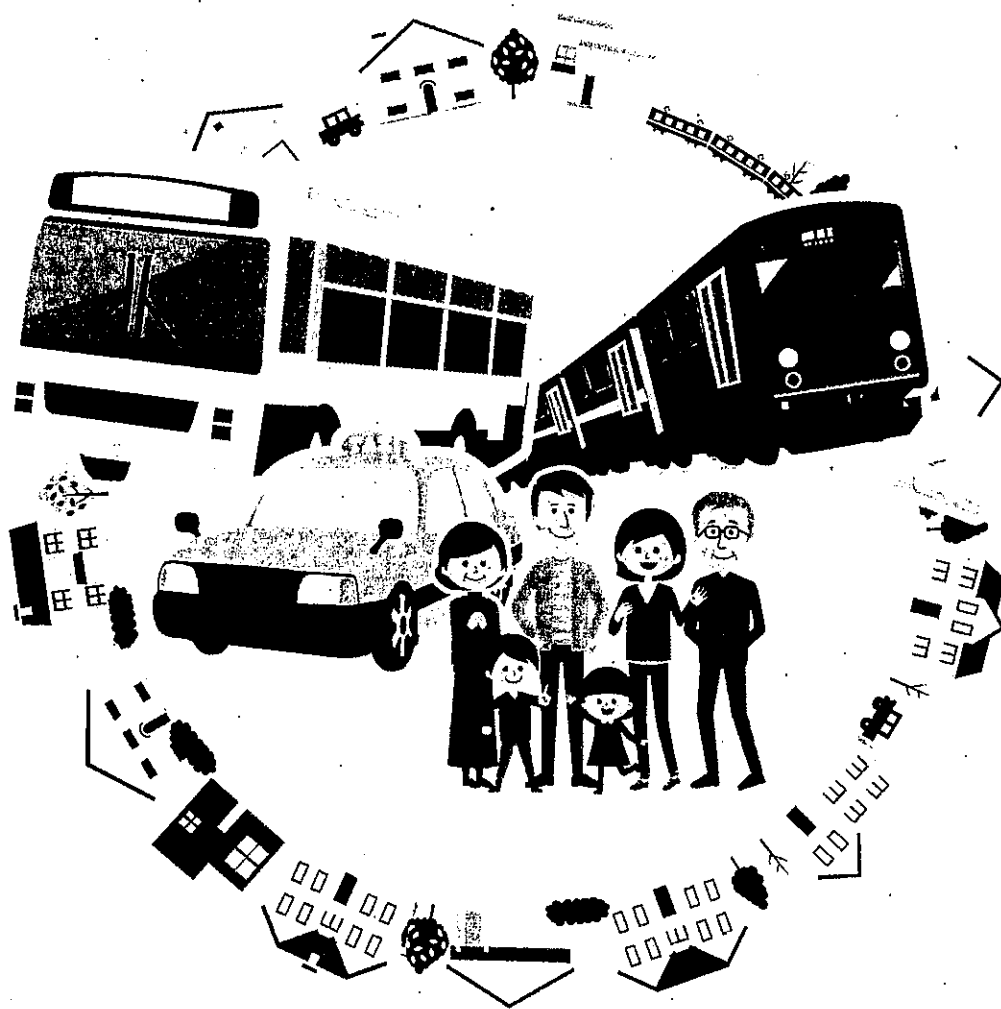
概算 170万円  
申請

### 【資料】

山口市の交通政策について  
第二次山口市市民交通計画(抜粋)  
第二次山口市市民交通計画 概要  
山口市総合時刻表 山口市公共交通マップ

育て支えよう!  
みんなの公共交通

第二次山口市市民交通計画  
(山口市地域公共交通網形成計画)



山口市  
平成30年3月

# 山口市の交通政策について

「市民、事業者、行政が協働し みんなで創り育てる」

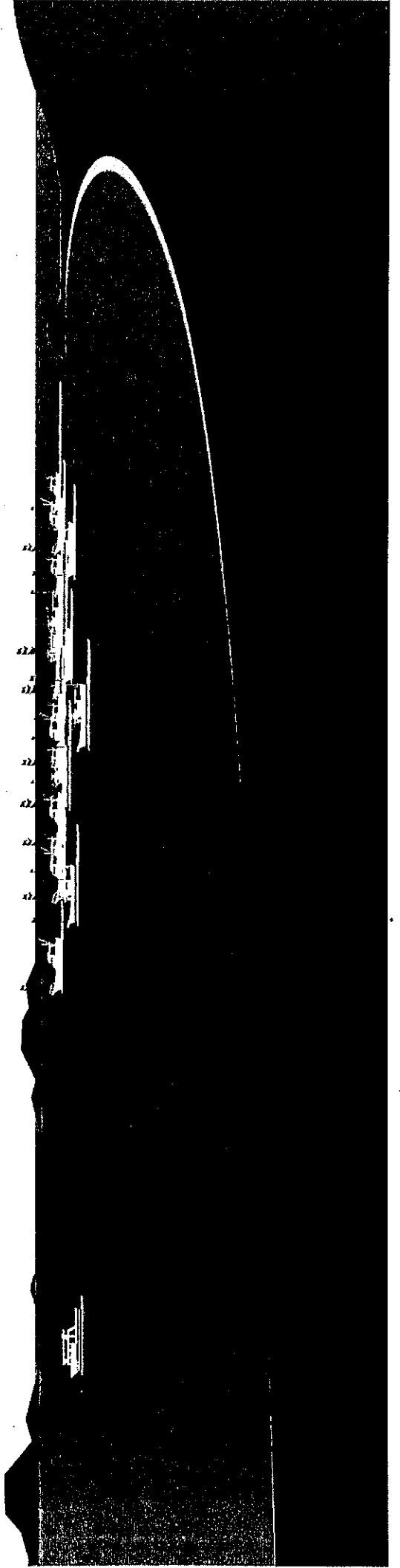


教育の町と自然

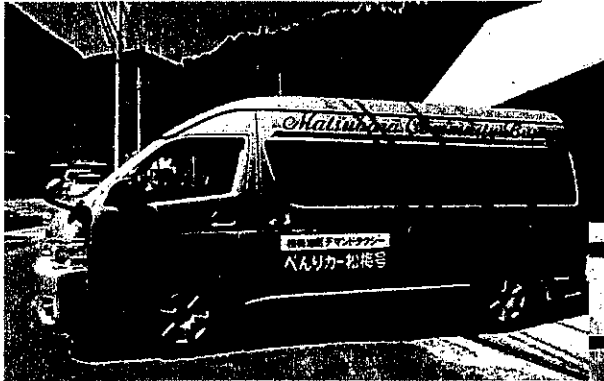
令和5年2月1日(水) 視察資料

# 地域の“わくわく”をつなぐ「さとづくり」

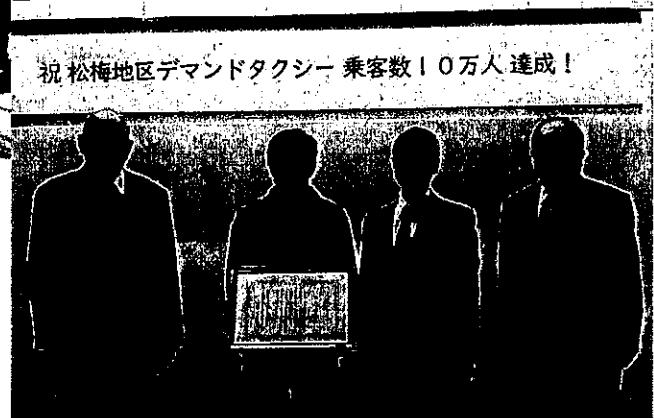
～郊外ニュータウン「宗像・日の里団地」における団地再生プロジェクト～



# 松梅地区デマンドタクシー 「べんりカー松梅号」について



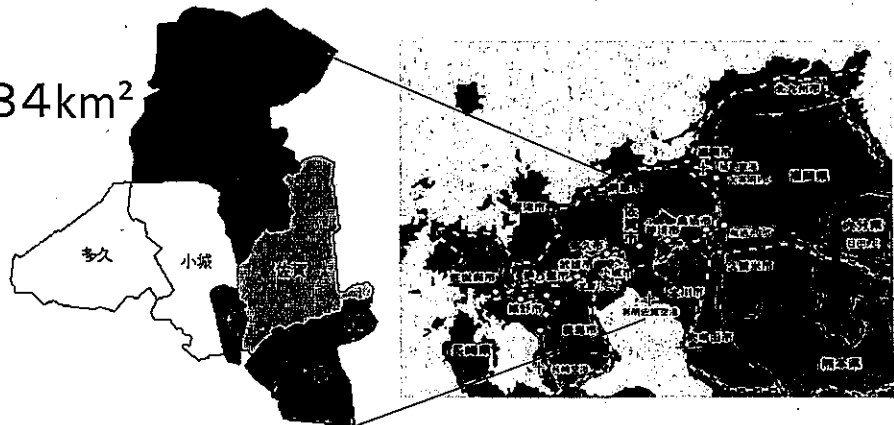
地元タクシー会社



佐賀市 企画調整部 交通政策課

## 1-1 佐賀市の紹介

- 平成17年10月 旧佐賀市、旧富士町、旧諸富町、旧大和町、旧三瀬村と合併して新しい佐賀市となる
- 平成19年10月 旧川副町、旧東与賀町、旧久保田町を編入合併
- 人口:229,445人 (令和4年12月末現在)
- 面積:431.84km<sup>2</sup>





2011~2020

# 佐賀市公共交通ビジョン

概要版



### 現金出納簿

支出科目( 広報費 )

(No. 1 )

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
4 4 13	3	1,347,434	1,347,434	会報69号印刷・新聞折り込み代 (阿部紙工)
4 4 13	4	341,000	1,688,434	会報69号版下作成代 (第一印刷)
7 7 14	18	819,500	2,507,934	会報70号印刷、新聞折り込み代 (陽光社印刷)
7 7 14	19	154,000	2,661,934	会報70号版下作成代 (第一印刷)
10 10 17	40	1,006,500	3,668,434	会報71号版下作成・印刷・新聞折り込み代 (第一印刷)
5 1 10	55	815,072	4,483,506	会報72号印刷・新聞折り込み代 (阿部紙工)
1 1 10	56	154,000	4,637,506	会報72号版下作成代 (第一印刷)
計		4,637,506	4,637,506	

該当するものに○ (または✓) を表示します

振込金受取書 (兼手数料受取書)

5-1

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼手数料受取書)

ご送付日 4年4月13日

金融機関名(漢字)を左つめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要) 支店名(漢字)を左つめでご記入ください

お振込先 銀行 [Redacted] 支店 [Redacted] 支出店所 [Redacted]

東邦銀行あての振込 銀行以外の場合は○をお付けください。

東邦銀行  信金  信組  協  その他

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)も一マスを使用してください。

預金種目 該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他  振替 左つめでご記入ください

金額 十 百 千 万 十 万 千 百 十 円

金額 ¥ 1 3 4 6 8 8 4

カタカナ カフ シキ カ イ シ ャ ア ハ シ コ ラ

おなまえ(漢字) 株式会社 阿部 紙工 様

カタカナ ア ク シ マ シ キ オ イ シ セ イ カ イ

おなまえ(漢字) 福島市議会 真政会 様

おところ 福島市五老内町3-1 日中ご連絡可能なお電話番号 [Redacted]

消費税込手数料 円

¥ 5 5 0

134,0434

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行

出3納

4. 4. 13

東邦銀行

福島市役所支店

収入印紙

1. 振込金受取書の場合、振込金+手数料5万円以上の場合は200円貼付

2. 振込金受取書の場合不要

3. 当店の本人口座への入金時は200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

領収書等添付用紙

No. ( J - 2 )

請求書

ASP

〒960-2195 福島市  
TEL (024)593-5228  
91110010



伝票No. 0211487  
令和 04年 04月 10日

受注No	品名	数量	単価	金額	消費税	備考
1-0000170148	福島市議会真政会報 第09号(4月10日折込)	65,300部	9.8	639,940		
1-0000170148	折込料(令和4年4月10日折込、福島市内 民報 民友)	65,000枚	9	585,000		
				税抜金額計	消費税額計	合計額
				1,224,940	122,494	1,347,434

上記の通り請求申し上げます。  
摘要

※品名うしろの(FSC認証)はFSCミックスレジットの意です。 ■FSC認証番号:SGSHK-COC-005246 30 0337

Vol.069

福島市議会真政会報  
— 令和4年4月 —

# 真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



花回廊 飯野町花やしき

福島市議会 真政会 presents

## 第10回 市民の皆さんとの意見交換会

開催日時

令和4年 **4月30日**±  
午後2時～3時

開催会場

**市民会館第2ホール**  
(福島市霞町1-52 2階)

第1部 市政の報告

「令和4年度の予算の概要」

第2部 意見交換会

「市政に関する意見・要望」

～リラックスタイム～

「石山波恵議員の夏に向かって簡単体操」

第1部では令和4年度の予算の概要について説明を行います。また、第2部では皆様から市政全般にわたり、広くご意見をいただき市政に反映してまいります。申込・予約は不要ですが、マスクの着用をお願いいたします。なお、新型コロナの感染状況により、中止になる場合があります。

※2月11日に予定していましたが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間中のため延期いたしました。

会長挨拶



白川 敏明

新型コロナウイルスは、変異を繰り返しながらその影響を拡大・長期化させ、いまだに猛威を振るっており、本市においても、市民の皆様の暮らしや、経済活動に大きな影響を及ぼしております。

コロナ禍は既に2年を過ぎましたが、オミクロン株による感

染は、今後も相当期間予想されますことから、感染防止と社会経済活動を両立することが重要になります。真政会は、感染防止対策、社会経済活動の持続に創意工夫を講じ、皆様からご意見等をいただきながら、課題に取り組んで参る所存でございます。

また、震度6弱であった、3月16日深夜の福島県沖地震により、被災された皆様にお見舞い申し上げます。議会では定例会議中に追加提案された、被災者支援関連議案を可決しましたが、当会派としても迅速かつ的確な支援体制の確立と、防災・減災にも積極的に政策提言をして参ります。

TEL 535-1111  
FAX 533-7614

E-mail ▶ [host@fk-shinseikai.org](mailto:host@fk-shinseikai.org)

発行責任者 ▶ 白川 敏明  
編集責任 ▶ 政務調査会



### 3月定例会議代表質問（抜粋）

真政会を代表して白川敏明議員が当局に質しました。



**Q** 昨年開催された東京2020オリンピック・パラリンピック大会において、本市でも野球・ソフトボール競技が行われ、どちらも日本が金メダルを獲得し盛り上がったが、この本市開催をどのように受け止めているのか伺う。

**A** 東日本大震災から10年の節目の年に復興五輪として、また、その象徴として野球・ソフトボール競技が開催され、両競技とも日本が金メダルを獲得し、復興創生に歩む私たちの勇気と希望となった。福島市がオリンピック開催都市として、共生社会の形成、健康づくり、スポーツのまちづくり、賑わいのまちづくり等において、官民連携で大きく前進した。また、オリンピック開催都市という誇りを持ってまちづくりを進め、「世界にエールを送るまち」を目指すためにも大変貴重な遺産である。



**Q** 観光の振興において、飯坂、土湯、高湯温泉の振興と、観光まちづくりの方策を、今後の展開を含め伺う。

**A** 観光の振興に係る、担い手と協奏により、稼ぐ観光で持続的な地域活性化に取り組みたい。新たな時代の観光協奏戦略を策定した。「道の駅ふくしま」が4月27日にオープンし、県内外から多くの誘客が見込まれ、三温泉地を「福島三名湯」としてブランド化し、滞在日数の増加を目指す。食や体験型の観光資源の充実を図り、観光客が市内各地広域に回遊するような取り組みも行う。

### 3月定例会議一般質問（抜粋）

今回の一般質問では、当会派からは二階堂利枝、萩原太郎議員の2名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

#### 動物との共生について

**Q** 令和3年8月にペット避難所が開設されましたが、令和4年度の災害対策、殺処分0に向けた本市の取り組みの内容を伺う

まで責任を持って育てて頂けるミルクボランティア、保護犬猫を一時的に自宅で預かってくれる一時預かりボランティアなど動物愛護の推進に協力いただける市民ボランティア体制の整備を行う。

#### 中央市民プールについて

**Q** 中央市民プールのリニューアルオープン時期と大会等について伺う

**A** 50mプールや25mプールなどの競技系施設に加えて、震災による被害や機械設備の老朽化等の影響によって閉鎖していたスライダープールや徒歩プールなどのレジャー系施設を含めた全館リニューアルオープンは今6月を予定。6月20日から「県中学校体育大会水泳競技東北地区予選会」が予定されている。

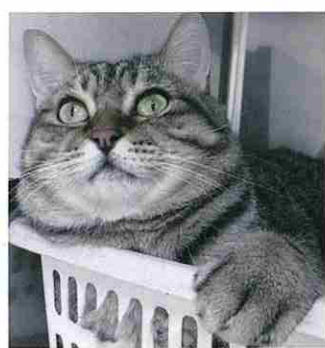


改修された信夫ヶ丘競技場

#### 信夫ヶ丘競技場整備について

**Q** 信夫ヶ丘競技場整備事業における第3種公認更新に必要な改修整備について進捗状況も含め伺う

**A** 走路全般の洗浄、劣化したウレタン走路の張替えや、ラインマーキングの塗装、走路の距離を正確に表すための内縁縁石の更新などであり、当初の工期は3月18日まででしたが雪のため工事の進捗率は、3月7日時点で92.2%となっている。



保健所では随時里親募集中

**Q** 令和4年度には本市ふるさと納税の応援メニュー、人も動物も幸せに「動物にもやさしいまち」のご寄付を活用し、プライベートルームやリードフック等を購入する。また、飼い主やペットが安心して避難生活を送る事が出来る環境を整え、県獣医師会や動物愛護ボランティアなどと連携しながら取り組めるよう、ペットと避難する飼い主自ら給餌や給水、清掃などに係わって頂く市民参加型の避難所スタイルとする。さらに、今年度からしつけ教育を行い、災害時の備えを強化する。不幸な猫を生み出さない為に野良猫の不妊手術の助成を行い、また動物愛護法改正に伴い、新規事業として保健所から譲渡する犬猫にマイクログチップを装着し、迷子などの場合所有者がわかるように対応する。哺乳が必要な仔猫を譲渡可能な状態



リニューアルされた中央市民プール

# 4 将来にわたり持続可能な産業の創出

30事業 14億6,826万円

## (1) 農林業の振興

- ・スイーツ・プレミアム事業、果実プロモーションの展開で販売拡大・ブランド力向上
- ・新規就農支援パッケージ
- ・鳥獣被害対策強化
- ・農業経営継承支援
- ・果樹剪定枝活用実証実験



## (2) 商工業の振興

- ・特定集積産業事業拡大強化支援
- ・新規創業者等支援
- ・創業応援利子補給パッケージ
- ・企業誘致の推進
- ・福島おおぞらインター工業団地 第2期始動

# 5 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

43事業 70億6,513万円

## (1) 街なかの活性化

- ・街なかにぎわい創出
- ・クリエイティブビジネスサロン運営

## (2) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

- ・福島駅東口地区市街地再開発支援
- ・（仮称）市民センター整備

## (3) 古閑裕而のまちづくり

- ・古閑裕而作曲コンクールの開設

## (4) 観光対策の強化

- ・道の駅ふくしま運営
- ・福島三名湯ブランディング

## (5) シティセールス

- ・ふるさと納税促進事業

## (6) オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

## (7) 歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

- ・本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、福島らしい文化の振興を図る

### すべての分野へ 2つの取り組み

# 6 人にやさしいデジタル化

14事業 3億6,691万円

## (1) 暮らしの向上

- ・地域総ぐるみの新たな枠組みを設けて、苦手な方にも優しくサポートしてデジタル化を強力に進める
- ・高齢者・初心者向けスマートフォン講座開催
- ・窓口手続きのデジタル化
- ・電子図書館の開設
- ・シルバー人材センターICT推進支援



## (2) 経済の向上

- ・デジタル化への対応が不得手な事業者へも優しくサポートして、デジタル化を強力に進める
- ・電子入札の導入
- ・デジタルスタンプラリーの開催

# 7 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

16事業 1億5,382万円

## (1) オフィス移転、移住定住推進パッケージ

- ・コロナ禍における地方へのオフィス移転の機運の高まりを踏まえ、交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた移住支援を強化
- ・移住定住推進パッケージ
- ・恋きゅんネット 恋活エール事業
- ・二十歳の同窓会2021プロジェクト



## (2) 女性活躍の推進

- ・女性の起業チャレンジ応援パッケージ

### 開かれた市政・スピードと実行

# 8 地域経営のリノベーション

21事業 14億7,140万円

## (1) 『共創』によるまちづくり

- ・相手に響く情報の伝達と直接対話により市民・企業とのコミュニケーションを図り、「共創」と「連携」によるまちづくりに取り組む

## (3) 持続可能な行財政経営

- ・連携中枢都市圏の形成による広域的発展
- ・公共施設等長寿命化対策

## (2) 女性活躍の推進

- ・女性の資格取得支援（ひとり親）

## (4) デジタル化の推進～オンラインファースト

- ・ICTを積極的に活用し、デジタル化による市民サービスの向上を目指す
- ・電子図書館の開設
- ・自治体オンライン手続推進





# 令和4年度の主要プロジェクト（抜粋）

コロナを超えて新たな復興創生ステージへ 重点プロジェクト

## 令和4年度一般会計当初予算額

# 1,159億円

前年比 36億円増 3.2%増

うち除染関連事業費、32億4千万円

### 最優先課題

### コロナを越える

## 1 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

### 39事業 37億8,066万円

#### (1) 感染防止対策

- ・ コロナウイルス検査、医療、ワクチン接種体制の充実
- ・ 保育所・学校等での感染防止対策を充実
- ・ 公共施設の対策



#### (3) 地域経済対策

- ・ 中小企業の資金繰りや地域公共交通事業者の事業継続支援、中心市街地での新たな事業展開や新型コロナに対応した活性化イベントの開催支援など、コロナで経済的影響を受けた業種への下支えを講じる

#### (2) 市民生活支援

- ・ 家計急変者への自立支援
- ・ 妊産婦へのサポート体制を強化
- ・ 市民や事業者への適切な情報発信

#### (4) コロナ後を見据えた変革

- ・ コロナ後を見据え、新たなビジネスモデルの創出や他分野への進出などのチャレンジを後押しするほか、テレワークをはじめとする、時間・空間などにとらわれない柔軟な働き方、暮らし方の定着を目指す
- ・ 行政のデジタル化
- ・ 市民サービスのデジタル化

### 福島の未来をひらく

### 4分野

## 2 安全安心なまちづくり

### 60事業 243億3,872万円

#### (1) 災害対策の強化

- ・ 水害対策パッケージ
- ・ 除雪力強化パッケージ

#### (2) 消防力の充実強化

- ・ 地域防災力の充実強化、緊急時の対応力及び復旧力の向上

#### (3) 共生社会の推進

- ・ バリアフリーの推進
- ・ 障がい児・者福祉の推進
- ・ 多文化共生の推進
- ・ 動物との共生

#### (4) 『健都ふくしま』の創造

- ・ 「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」を三本柱として、人生100年時代を見据えた健康づくり

#### (5) 『高齢者の元気』の創造

- ・ 介護サービスの安定

#### (6) 地域医療の充実

- ・ 救急医療体制の充実

#### (7) ゼロカーボン都市の推進

- ・ 福島らしい再生可能エネルギーの生産と活用を推進

#### (8) 生活環境の整備

#### (9) 仮置場の原状回復

## 3 子育てと教育で選ばれるまちづくり

### 33事業 135億6,066万円

#### (1) 子育て支援の充実

- ・ 保育所・学童クラブの待機児童ゼロ定着を目指す
- ・ 子ども・子育て支援の新ステージ2020推進事業
- ・ 子育て世代の多様なニーズに応える事業を展開し、「子育てと教育なら福島市」と称されるまちを目指す

#### (2) 教育の充実

- ・ 福島型オンライン授業の充実
- ・ 読解力の向上と読書習慣の定着に向けた図書の充実
- ・ 不登校児童生徒の支援体制の拡充
- ・ 学びの環境の充実
- ・ 学校施設の改修 等



### 2月5日緊急会議報告

#### 除排雪費用3億5千万円の追加

12月26日から1月28日の累計積雪量が124cmとなり市民生活に大きな影響が出ているため3億5千万円の補正予算を計上し、財源は繰越金を充当する。これは除排雪費用が4億円程となり、当初予算が2451万円であったため1億5千万円を予備費から充当しても2億3千万円余が不足となり、今後の備えとして1億円を加えた議案が提案され可決した。



### 令和4年3月市議会定例会議報告

3月1日から24日までの3月定例会議は、3月16日の地震に関する追加議案（別欄記載）が提出され、1日延長し25日までの開催となり、予算関係・条例関係・その他の議案、計60件を審議した。開会冒頭市長から提案理由の説明があり、新年度の「新型コロナ対策ほか「安全安心」、「子育て・教育」、「仕事づくり」、「賑わい・文化」、「デジタル改革」、「移住定住・女性活躍」、「地域経営のリノベーション」の8つのプロジェクトの取組みについて示された。補正予算は

国の経済対策（コロナ克服・新時代開拓のための経済対策）関連として5億4千100万円余であり通学路安全対策、橋りょう長寿命化修繕、道路改良等と今年度の未整理補正として、企業立地促進費、ふるさと納税促進など3億7千400万円余が提案され、いずれも採択された。

また、特別職の人事として、新たな副市長、常勤監査委員が承認された。尚、副市長一名はしばらく空席となる。

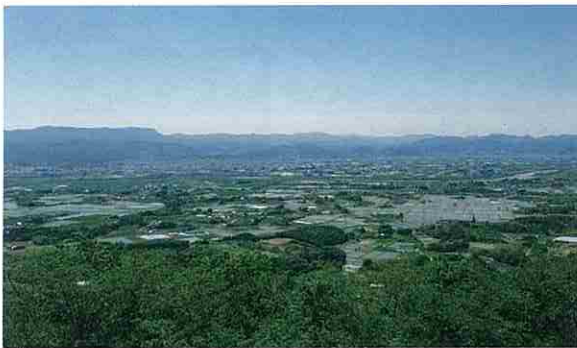
### 令和4年度予算特別委員会報告

新総合計画2年目、「コロナを越えて新たな復興創生新ステージへ反転攻勢」をスローガンに編成された新年度予算は、総じて財政環境は厳しい状況の中、緊急度・優先度の高い事業に予算を振り分け、財源を効率的に配分したとの説明があった。新年度予算は、一般会計が1159億円、特別会計は合わせて546億円余、水道事業会計は112億円余、下水道事業会計141億円余、農業集落排水事業会計2億円余、総計で1980億円余が提案され、常任委員会を単位とする4つの分科会で審議した。尚、当会派から、二階堂利枝、白川敏明、半沢正典議員が予算特別委員会理事となり、委員会の運営に当たった。

### ふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

今定例会議に、標題の議案が提出された。ふくしま田園中枢都市圏は福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村の4市3町2村で構成される広域連携の枠組みである。地方都市において特に人口減少・少子高齢化が進み、地域の持続可能性が弱まる懸念され、この状況に対し、近隣自治体が強みを合わせ、広域連携により流れを変える地方都市圏を形成することが重要である。それぞれの持つ都市機能や強み、特長等を生かし、魅力あふれる圏域の実現に向けた取組を計画的に推進するため、計画期間を令和4年度から8年度までの5年間とする、ふくしま田園中枢都市圏ビジョンを策定し、推進体制として圏域の各市町村長で構成する「（仮称）ふくしま田園中枢都市圏ビジョン推進会議」を設置し、毎年度施策や取組みの進捗管理及び意見交換を行う。また、学識経験者や有識者等で構成する「（仮称）同ビジョン懇談会」からの意見も聴取する。

平成27年（2015年）には約49万7千人であった圏域人口は、令和22年（2040年）には約37万6千人、約24%の減少と推計される中、圏域市町村の人口目標の合計である約41万人を、各市町村それぞれの人口減少対策の展開に加え、圏域全体での連携施策の取組みにより着実に達成することを第一の目標とし、少しでも上回ることを目指す。また、圏域全体の経済成長と復興創生等の具体的取組みも示された。



国見町から望む信達平野

## 令和4年3月16日福島沖地震対応関連追加議案(被災者支援関連予算)

### ① 災害見舞金

3月16日福島県沖地震により被害を受けた住家に居住されていた方(世帯主)へ見舞金を支給します。

補正額：65,000千円

かんたん申請(オンライン)または郵送で受付

区分(罹災証明)	金額
全壊	100,000円
半壊(大規模半壊・中規模半壊含む)	50,000円

### ② 災害援護資金貸付金

3.16福島県沖地震により被害を受けた世帯の生活立て直しを支援するため、生活再建の除雪費決算額に必要な資金の貸し付けを行います。

補正額：26,000千円

(貸付例) 度世帯主に負傷がない場合	貸付上限金額	貸付利率	償還期間
家財の1/3以上の損害	100,000円	保証人あり …無利子 保証人なし …年1.5%	10年以内
住居の半壊	50,000円		
住居の半壊	50,000円		

### ③ 住宅の応急修理支援

3.16福島県沖地震により住家が損壊し、自ら修理する資力のない世帯に対し、日常生活に不可欠な除雪費決算額部分の応急的な修理を支援します。

補正額：456,000千円

区分(罹災証明)	上限金額(税込)
準半壊(10%~20%未満の被害)	300,000円
半壊以上(20%以上の被害)	595,000円

### ④ 災害等廃棄物処理費

3.16福島県沖地震により発生した災害廃棄物の処理及び損壊した家屋の解体撤去処分等を実施します。

補正額：503,000千円

区分	内容
災害等廃棄物処分	ブロック塀や瓦など処理困難廃棄物を受入れ、処分します。
被災リサイクル家電処理	被災した家電を受入れ、処分します。
被災家屋等解体	倒壊したブロック塀や家屋の解体を行います。 ※家屋は罹災証明書で【全壊】とされた家屋のみ対象となります。

### ⑤ ブロック塀の撤去支援

今後の地震により倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去費用の1/2を補助します。(既定予算対応)

補助率	上限金額
@5,000円/mまたは1/2いずれかの低い額	100,000円

### ⑥ その他の支援策

今回条例提案

- ・国民健康保険税の減免
- ・介護保険料の減免

詳しくは被災者支援制度ガイドブックをご確認ください。  
(市ホームページに掲載)  
なお、各種支援制度の内容については、順次更新いたします。



平和ビルの壁が崩落

## 消防団員の処遇改善を図るための支給額を改定(令和4年4月1日から施行)

### 【主な改正内容】

- ・消防団員の出勤毎に支給する費用弁償を出勤報酬とし、支給額を改定

改正前			改正後		
区分	支給単位	金額	区分	支給単位	金額
火災出勤	1回	2,000円	災害出勤	2時間未満	2,000円
その他の災害出勤	1回	2,000円		2時間以上4時間未満	4,000円
				4時間以上6時間未満	6,000円
				6時間以上	8,000円
搜索出勤	1回	2,000円	搜索活動、火災調査協力	1回	3,500円
訓練、研修	1回	2,000円	訓練、研修	1回	2,000円

当会派提出の意見書・決議が採択されました。

学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書(抜粋)

- 1 システム及びソフトウェアの整備、情報端末及び通信設備の修繕や定期更新など、教育DXに関する学校教育予算の充実及び確保と、そのあり方について検討を進めること
- 2 様々なOSの情報端末、デジタル教科書及び個人認証システムの互換性を確保するための統一規格について検討を進めること
- 3 情報端末の利活用及び個人情報の取扱いなど、教育DXに対応する教職員研修のあり方について検討を進めること
- 4 学校教育法施行規則に定められている情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置は教職員の負担軽減及びICTを有効に活用した学びの実現のために不可欠であり、配置に関する予算の充実及び確保を進めること
- 5 自治体や学校ごとのフィルタリング設定等に頼らない児童生徒の安全なインターネット接続や、児童生徒の学習データの蓄積のためのクラウド環境を含む、児童生徒一人一台端末をインターネットに接続するための全国共通システムの構築を進めること
- 6 よく聞き、よく読み、よく書くなどの生涯学び続けるための基本的な学ぶスキルを身に付ける上で、紙面の活用及び対面学習の併用を検討すること

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日にロシアはウクライナに軍事侵攻を開始した。明らかな侵略行為であり、力による一方的な現状変更を認めないとする国際秩序の根幹を揺るがし、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国連憲章・国際法違反であり、断じて容認できない。また、核兵器の使用をほのめかし、世界を恫喝することは言語道断であり、国際社会は連携し、ロシアに対して毅然とした対応で臨まなければならない。

よって、福島市議会は、ロシアの暴挙に断固として抗議し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるとともに、日本政府においては、在留日本人の安全確保に全力を尽くし、経済制裁など厳格な対応をとり、国際社会と連携し速やかな平和の実現に全力を尽くすことを要請する。

令和4年度春季 議会報告会

議員が4班に分かれ議案等の説明や意見交換会を行います。体温が37.5度以上の方、体調不良の方の来場はご遠慮ください。また、マスクの着用をお願いします。

尚、新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。



開催日	開会時間	会場
5/9(月)	午後2時~午後3時	杉妻支所
5/9(月)	午後6時30分~午後7時30分	清水支所
5/10(火)	午後2時~午後3時	夢愛舞台(土湯温泉)
5/12(木)	午後2時~午後3時	信陵支所

編集後記  
3回目のワクチン接種が進んでいますが、まだ予断を許さない状況にあります。一方、昨年2月の福島沖地震が記憶に新しいところ、3月16日の深夜に、また大地震に見舞われ被害を受けました。日ごろの備えを痛感しています。さて、コロナ禍で

迎えた3回目の春に、福島市出身の若隆景関の優勝に勇気と感動をもらうとともに、相撲を見るのが楽しみになりました。季節はまさに春本番。満開の桜の下で大きく深呼吸をして心もリフレッシュしませんか。

**黒沢 仁**  
顧問 総務会担当  
副議長  
総務常任委員  
飯野町大久保字谷津44  
TEL: 562-3582

**渡辺 敏彦**  
顧問 幹事会担当  
経済民生常任委員  
松川町字青麻山3  
TEL: 567-2660

**白川 敏明**  
会長  
文教福祉常任委員長  
複合市民施設に関する調査特別委員  
予算特別委員会理事  
飯坂町字中原36  
TEL: 542-4041

**大平 洋人**  
総務会長  
建設水道常任委員  
監査委員  
八島田字東本庄町4-27  
TEL: 559-2043

**小松 良行**  
会長代行  
総務常任委員  
議会運営委員長  
瀬上町字東町2-6-10  
TEL: 553-0647

**半沢 正典**  
顧問 政調会担当  
経済民生常任委員  
複合市民施設に関する調査特別委員  
予算特別委員会理事  
上鳥渡字寺北28-3  
TEL: 593-5256

**二階堂 利枝**  
副幹事長  
建設水道常任委員  
議会運営委員  
複合市民施設に関する調査特別委員  
予算特別委員会理事  
上野寺字道上13-3  
TEL: 535-6719

**石山 波恵**  
政調会長  
文教福祉常任委員  
広報委員会委員  
置賜町8-18-402  
TEL: 526-0852

**萩原 太郎**  
幹事長  
建設水道常任委員長  
議会運営委員  
山口字下屋敷28-2  
TEL: 535-4693

# 領収書等添付用紙

No. (4- / )

## 領 収 書

令和 4 年 4 月 13 日

福島市議会真政会 様

¥341,000-

上記の金額正に受領いたしました。



No 041879

株式会社 第三印刷

代表取締役 幸

本社・工場 福島市阿武隈古川町1番地(福島工業団地内)  
TEL (024) 536-5252 FAX (024) 536-6100

品名	数量	単価	金額	消費税	合計	支払手段
福島市議会 真政会報						現金 小切手 振込 相殺 手形 期日 令和 年 月 日
会報 No.69 版下作成費(8P) 1式			310,000			
消費税				31,000		担当印 
合計			341,000			

担当印のないものは無効です

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (4-2)

請 求 書

2022年 4月 8日

福島市議会真政会

様

本社・工場  
 福島市 四番字 幸治印刷  
 TEL 024-6311820  
 FAX 024) 536-6100

代表取締役 幸治

品番	品名	数量	単価	金額
1 20	福島市議会 真政会報			
1 01-008-00-1	会報 NO.69号 版下作成費(8P)	1		310,000
				310,000
				341,000

伝No. 124382  
 9250

摘要

合計 310,000 [消費税等]

合計 341,000

該当するものに○ (または✓) を表示します

18-1

振込金受取書 (兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼手数料受取書)

ご振込日  
2022年7月14日

お振込先	金融機関名(漢字)を左づめてご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)		支店名(漢字)を左づめてご記入ください		支出店所																																	
	東邦銀行あての振込 <input checked="" type="checkbox"/> 東邦銀行		銀行以外の場合は○をお付けください。 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>			ご記入にあたってのお願い ■ 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 ■ 金額の先頭に¥マークをご記入ください。 ■ 濁点(・)、半濁点(゜)もーマスを使用してください。																																
お預金種目	該当項目に○をお付けください 1. 当座 2. 普通 4. 貯蓄 9. その他	左づめてご記入ください	金額		消費税込手数料 円																																	
	<input type="checkbox"/> 口座番号		<table border="1" style="width:100%; text-align: center;"> <tr> <td>十</td><td>百</td><td>千</td><td>万</td><td>十</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>円</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>¥</td><td>8</td><td>/</td><td>8</td><td>9</td><td>5</td><td>0</td> </tr> </table>			十	百	千	万	十	万	千	百	十	円					¥	8	/	8	9	5	0	<table border="1" style="width:100%; text-align: center;"> <tr> <td>¥</td><td>5</td><td>5</td><td>0</td> </tr> </table>	¥	5	5	0							
十	百	千	万	十	万	千	百	十	円																													
				¥	8	/	8	9	5	0																												
¥	5	5	0																																			
受取人	カタカナ	<table border="1" style="width:100%; text-align: center;"> <tr> <td>ヨ</td><td>ウ</td><td>コ</td><td>ウ</td><td>シ</td><td>ヤ</td><td>イ</td><td>ン</td><td>サ</td><td>ツ</td><td>カ</td><td>フ</td><td>カ</td><td>シ</td><td>キ</td><td>カ</td> </tr> <tr> <td>イ</td><td>シ</td><td>ヤ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>				ヨ	ウ	コ	ウ	シ	ヤ	イ	ン	サ	ツ	カ	フ	カ	シ	キ	カ	イ	シ	ヤ														様
	ヨ	ウ	コ	ウ	シ	ヤ	イ	ン	サ	ツ	カ	フ	カ	シ	キ	カ																						
イ	シ	ヤ																																				
おなまえ(漢字)	陽光社印刷株式会社																																					
依頼人	カタカナ	<table border="1" style="width:100%; text-align: center;"> <tr> <td>フ</td><td>ク</td><td>シ</td><td>マ</td><td>シ</td><td>キ</td><td>ツ</td><td>カ</td><td>イ</td><td>シ</td><td>ン</td><td>セ</td><td>イ</td><td>カ</td><td>イ</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>				フ	ク	シ	マ	シ	キ	ツ	カ	イ	シ	ン	セ	イ	カ	イ																		様
	フ	ク	シ	マ	シ	キ	ツ	カ	イ	シ	ン	セ	イ	カ	イ																							
おなまえ(漢字)	福島市議会稟政会																																					
おところ	日中ご連絡可能な電話番号																																					
福島市五老内町3-1																																						

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。  
○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行



紙  
以上の場合200円貼付  
2. 振込金受け取りの場合不要  
3. 当座の本人口座への入金時は200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

# 領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (18-2)

請 求 書

2022年 7月 8日

No00041768



福島市議会真政会 様

(150109-00)

毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

本 社 / 福島市 代表取締役 株式会社  
TEL: 0246-221110 目録 0246-221110  
東京連絡所 / 東京都 東京連絡所 TEL: 03-3352-7873 803

No.	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消 費 税 等	摘 要
22060418	真政会報 vol. 70	64,900	部	7	454,300	45,430	
22060418	折込料	64,600	部	4.5	290,700	29,070	
税抜金額計					745,000	74,500	合計額
消費税等計							819,500

担当: [Redacted]



Vol.070

福島市議会真政会報  
— 令和4年7月 —

# 真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



## 第10回 市民の皆さんとの意見交換会

### 「令和4年度の予算の概要説明」

初めに、本市の財源と市税の割合、固定資産税や市税の交付税等、さらには削減による今後の財源見通しについて、説明した。

第10回となる意見交換会は、市民会館において2月に開催を予定していたが、コロナの影響を鑑み4月30日に延期した。当日は30日程度の参加があり、テーマである令和4年度の予算の概要を分類ごとに説明した。

#### 第一部 市政の報告

福島市では、新型コロナウイルス感染者数も減少してまいりましたが、予断を許さない状況が続いております。警戒を緩めることなく、基本的な感染対策を徹底し、社会経済活動との両立を図って行かな



白川 敏明

会長挨拶

ければなりません。また、重症化を防ぐため、4回目のワクチン接種も始まりましたが、集団的な抵抗力を高めるためにも、ワクチン接種が重要です。「夜間接種」も実施しておりますので、万全を期して夏の行楽シーズンを楽しまししょう。

ました。早速6月定例会議では、ひょう害支援の第1弾として2千万円を計上しましたが、真政会では視察を行い、被害状況を聴取したことから支援の在り方を検討してまいります。

#### 第二部 市政に対する意見・要望

主な意見等は、建て替え予定の公共施設、米価の下落、ごみの減量化、道の駅、子ども達が喜ぶ公園、夜間中学、田園中枢都市圏についてなど広範囲にわたる内容であり現在の状況について説明を行うと共に今後の取組の参考にしていく。

#### 石山波恵議員の夏に向って簡単体操

恒例の音楽に合わせてタリラックス体操で締めくくった。両手を挙げての背伸びや、左右に曲げての体側伸ばし、足踏みしてのエコノミー症候群予防、最後に左右の手を開くと握るのを交互に行い、リフレッシュした。



意見・要望に真摯に向き合う



全員で体を動かしリフレッシュ

TEL 535-1111  
FAX 533-7614

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 白川 敏明  
編集責任 ▶ 政務調査会

# 各常任委員会の報告

## 総務

(定数9人)

【小松良行・黒沢仁】

### 【財務部】

市税条例の一部を改正する条例制定の件では、住宅借入金等特別税控除の適用期間が4年延長され、令和7年末までの入居者が対象となる。控除限度額は、所得税の課税総所得額等の7%（最高13万6500円）から5%（最高9万5500円）に減額されるが、所得要件は2千万円以下に見直される。

また、収納計算処理費2870万円は、地方税統一QRコードを用いた電子納税に対応するためシステム改修及び納付書の様式変更を行う。

### 【消防本部】

非常備消防自動車整備事業2898万5千円の繰越明許費は、消防ポンプ自動車等購入について年度内の納入が困難になったため、令和5年度へ繰り越すもの。財産取得の件では、飯坂消防署東出張所に東出張所に配備される高規格救急自動車1台が配備された。



東出張所に配備される高規格救急自動車

#### 今回の主な補正予算

● 収納電算処理費	28,700千円
● 高齢者デジタル活用サポート事業費	20,000千円

## 文教福祉

(定数9人)

【石山波恵・白川敏明】

### 【教育委員会】

余目小学校、渡利中学校の屋内運動場改築工事に係る事業費がウッドショック等の影響により8千500万円余の増で8億8000万円余となった。

### 【健康福祉部】

市民への円滑な新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目）を実施するとともに、迅速かつ適切に実施できるよう接種体制整備を図る。

### 【こども未来部】

コロナ禍による影響の長期化により、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。また、今年3月の福島県沖地震により被災した児童福祉施設、保育施設に対して、復旧に要する費用を補助し、さらに児童施設の防犯対策の強化のため、非常通報装置・防犯カメラ等の設置等、安全対策の整備費用を補助する。



地震の被害があった児童福祉施設

#### 今回の主な補正予算

● 新型コロナワクチン接種（4回目）	800,597千円
● 福島型給食推進事業の拡充	128,755千円

## 経済民生

(定数8人)

【半沢正典・渡辺敏彦】

### 【市民・文化スポーツ部】

「日米対抗ソフトボール2022」に共催し、福島らしいおもてなしで支援する。また、本市の魅力や合宿地としての優位性を発信していく。8月6日と7日にあづま球場で交流試合が行われ県内の子ども達を招待する計画である。

### 【商工観光部】

コロナ禍に加えて原油価格や物価の高騰の影響を受けた市民生活の支援と、疲弊した地域経済の支えを、起るため、市独自の需要喚起策として3千円で4千5百円分のクーポン券を購入できる「ふくしま市民エールクーポン」を全市民対象とする計画である。

### 【農政部】

6月3日の降ひょう被害を受けた果樹生産者の支援を全国に呼びかけるポータルサイトを開設・運営し、ひょう害果の販売情報集約と送料を支援する。



ひょうで傷がついたリンゴ

#### 今回の主な補正予算

● 降ひょう被害を受けた果樹生産者への支援	20,000千円
● 第4弾 市民エールクーポン	652,500千円

## 建設水道

(定数8人)

【二階堂利枝・萩原太郎・大平洋人】

### 【環境部】

除去土壌の仮置き場から中間貯蔵施設への輸送が令和4年4月23日をもって完了。今後は地区ごとにモニタリングを実施し、放射線量を確認する。モニタリングの方法は、市内19地区において1地区5点以上とし、学校等や住民が集まる公共施設とする。

### 【都市政策部】

3月の福島県沖地震において、罹災証明が「一部損壊」となった家屋に対し、日常生活に不可欠な部分（20万円以上修理した場合の費用の一部を定額で10万円補助することとし、400件の申請見込みで400万円）の追加補正を行う。



道路維持補修センター視察

#### 今回の主な補正予算

● 一部損壊住宅修理支援事業	40,000千円
● 道路改良に伴う配水管布設工事	35,200千円

## 請願

国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める請願書

## 陳情

暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関するについて

## 意見書

当会派提出の意見書2件（別記記載）ほか3件

令和4年6月定例会議で採択された請願・陳情・意見書

**当会派提出の意見書が採択されました。**

**木材の価格安定と国産材の供給力強化等を求める意見書 (抜粋)**

- 1 木材需要の変動に対して弾力的に対応するとともに、木材の価格安定に向けた取組と事業者等への支援について早急に対策を講じること
- 2 中長期的に国産材の供給体制の強化を図り、輸入材の動向に左右されない国産材の供給力を計画的かつ着実に高めること

**エネルギーとしての水素の普及促進を求める意見書 (抜粋)**

- 1 エネルギーとしての水素について一層の技術開発を推進するとともに、水素の活用について、その安全性等について国民に周知・啓発を図り、実効性のある普及促進の取組を行うこと
- 2 エネルギーとしての水素の効率的な研究開発を行うとともに、事故や自然災害にも対応できる安全な施設の設置と管理体制を構築すること
- 3 燃料電池自動車の普及促進のため、水素ステーションの設置を推進すること

3月16日の福島県沖地震に関し29億3千万円余の補正予算を審議のうえ可決し、既に議決した10億円余と合わせ累計で39億8千万円余となった。被災家屋等解体処理は、公費解体の対象を「全壊」から「半壊以上」に拡大し25億

円余、住宅屋根改修助成事業に2千2百万円余、学校等の市有施設の復旧に4億3千3百万円を計上し、早期の復旧を目指す。また、特別会計の市場施設復旧費、下水道事業会計の処理場改良災害復旧費も示された。

**4月15日緊急会議報告**

6月2日から16日までの15日間にわたり、一般会計補正予算9億6千9百万円余と追加補正予算10億7千万円余等の議案26件及び報告10件の審査を行った。市長からの提案説明の冒頭に、本市における新型コロナウイルス感染症状況と対策の説明や3月16日の福島県沖地震での支援状況等の説明を受けた。

また、空席になっていた副市長に、国土交通省から田中政幸氏を起用する人事案件と、緊急経済対策・新型コロナ対策・降ひょう被害を受けた果樹生産者への支援が追加提案され可決した。会期中、新型コロナウィルス感染症など新たな危機事象に対応するため、災害対応指針等の見直しを図り、議会機能の維持と早期回復を目指す「議会機能継続計画策定特別委員会」が設置された。

**令和4年6月市議会定例会議報告**

**降ひょう被害の果樹園を視察**

6月3日に発生した降ひょうによる果樹への被害は、6月9日時点で6億円以上となり、昨年の凍霜害被害の5億2千7百万円を上回る深刻な事態となっている。当会派では各議員が市内各地の情報収集にあたり、JA並びに果樹生産関係者も同席し現地調査を行った。「ひょうにより全果に傷があるばかりでなく、新枝にも傷が付き来年も影響しないか心配。一昨年のせん孔病と昨年の霜害に続く被害に落胆した」との話から、この調査をもとに支援策等について要望していく。



笹木野地区の桃・梨・りんご園を視察

今回の一般質問では、当会派からは大洋洋人、石山波恵議員の2名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

**6月定例会議一般質問 (抜粋)**

**Q** 食材価格高騰による学校給食への影響を対応策も含め伺う  
**A** 国が公表した4月分消費者物価指数によれば、生鮮食品については前年同月比で約12%増となっており、市内学校給食用の食材についても、たまねぎやじゃがいも、葉物野菜、調味料等の購入価格で影響を受けている。

**Q** アフターコロナ・ウィズコロナ時代にマッチしたあづまエリアツアーの推進について伺う  
**A** コロナ時代にマッチした新しいタイプの旅行者ニーズに対応した体験型ツアー商品やプログラムの開発を進め、エリア周辺のブランド化を図るとともに日本一の清流・荒川周辺の山麓エリアの魅力の発信し、吾妻連峰に自生する吾妻五葉松と盆栽体験は山岳観光と組み合わせ、磨き上げを行うことによりエリアの価値を高付加価値化を図っていくとの答弁がなされた。

**Q** 古閑裕而を活かしたまちづくりの観点から、定期的に演奏するなど、福島型ストリートピアノの活用について伺う  
**A** ストリートピアノは「誰もが自由に弾けるピアノ」として設置することとしたもので、現時点において特定の曲や定期的な演奏などの計画はない。今後は、音楽会・演奏など様々な活用が可能について、所有者である「ふくしま情熱通り実行委員会」や関係機関と協議していく。

学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、市としては福島型給食として地産地消や子どもたちの思いに残る給食の提供に務めるとともに、食材価格高騰する現状においても栄養バランスの取れた質と量を確保しながら、保護者の負担が増えないよう支援策を講じていくとの答弁がなされた。



道の駅の吾妻五葉松コーナー



駅地下通路のストリートピアノ

福島県環境創造センター交流棟視察

当施設は、放射線や環境問題を身近な視点から理解し、環境の回復と創造への意識を深める施設であり、放射線や福島の現状に関する展示や体験ができる。視察から、放射線教育や研修ができる施設において、正しい知識と意識を深め、風評被害を克服していくとともに、施設の活用を周知していく。



震災後の福島第一原発の模型

5月13日

福島再生可能エネルギー研究所視察

当施設は、再エネに関する我が国唯一の国立研究機関であり、独創的な再エネ技術を研究開発するとともに世界に発信し、企業支援・人材育成を通して復興支援に貢献することを目的に設立された。所内では、地下熱利用のエアコン装置や太陽光発電のシステム別発電効率及び耐用年数の調査、風力発電及び水素の利用など、地球温暖化対策としての様々な再エネの研究を行っていることへの認識を深めた。近年の地球温暖化による自然災害を防ぐための取組は喫緊の課題であり、ゼロカーボン都市を推進する本市において、市民の役割と公的な助成を効果的に実施するための政策提言の参考にしたい。



南東北の地質図

5月13日

福島県ハイテクプラザ郡山本部視察

本県技術開発の中核を担う組織及び施設の視察を行うとともに、ハイテクプラザ福島といわが郡山本部に統合されたことから、今後の運営について本市の影響等を聴取した。当施設は、統合を機に、新たに精度の良い機器を導入すること。さらに、本部の体制も強化され、福島地域担当部長といわき地域担当部長を配置し、各種の検査・相談等の業務には今まで以上の対応が可能との説明がなされた。最先端の設備やスタッフを擁するハイテクプラザは、安価な料金で利用できるため、自社での設備が不要となるほか本市の技術水準を高めるためにも活用することは有効であり、本市としても、ハイテクプラザと連携し、各種の産業団体に活用を促し経済活性化に繋げるべきと考える。



検査機器の説明

5月13日

福島駅東口再開発事業における全員協議会開催

福島駅東口地区第一種市街地再開発事業について、新しい計画では延べ床面積が90㎡増加し72540㎡となるほか、工事費が7%程度増加する見通しから492億円に増額となるとの説明があった。また、福島駅前交流・集客拠点施設整備基本計画の市専有面積が1000㎡増加し約14000㎡となることともに、大ホールは1500席程度とステージの移動で800席程度に変更できる方式等、新しい事業計画案の説明が行われ、令和8年の完成のスケジュールが示された。



駅前からのイメージ

**黒沢 仁**  
顧問 総務会担当  
副議長  
総務常任委員  
飯野町大久保字谷津44  
TEL: 562-3582

**渡辺 敏彦**  
顧問 幹事会担当  
経済民生常任委員  
議会機能継続計画  
策定特別委員  
松川町字青麻山3  
TEL: 567-2660

**白川 敏明**  
会長  
文教福祉常任委員長  
複合市民施設に関する  
調査特別委員  
議会機能継続計画  
策定特別委員  
飯坂町字中原36  
TEL: 542-4041

**大平 洋人**  
総務会長  
建設水道常任委員  
監査委員  
八島田字東本庄町4-27  
TEL: 559-2043

**小松 良行**  
会長代行  
総務常任委員  
議会運営委員長  
瀬上町字東町2-6-10  
TEL: 553-0647

**半沢 正典**  
顧問 政調会担当  
経済民生常任委員  
複合市民施設に関する  
調査特別委員  
上鳥渡字寺北28-3  
TEL: 593-5256

**二階堂 利枝**  
副幹事長  
建設水道常任委員  
議会運営委員  
複合市民施設に関する  
調査特別委員  
上野寺字道上13-3  
TEL: 535-6719

**石山 波恵**  
政調会長  
文教福祉常任委員  
広報委員会委員  
議会機能継続計画  
策定特別委員  
置賜町8-18-402  
TEL: 526-0852

**萩原 太郎**  
幹事長  
建設水道常任委員長  
議会運営委員  
山口字下屋敷28-2  
TEL: 535-4693